

授業科目区分	授業科目名		単位	時間	必修・選択	聴講生受入
基礎	情報統計科学		4	60	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科1年	中村 直人	理学療法研究、作業療法研究				
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	アプリケーションの基本的な使い方を理解し、また、生物科学の理論の根拠としての統計学の基礎を学ぶ					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文章作成、表計算、プレゼンテーションに用いられるアプリケーションの基本的な機能を理解する。 2. 統計学の基礎となる概念である、確率、測定尺度、正規分布、等を理解する。 3. 基本的な統計的手法を理解する。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>アプリケーションの使用経験(コンピュータ自体の操作法を含む)や、数学的な知識の背景は皆さん個人個人で異なるため、人によっては授業時間だけでは理解が不十分な事があるかも知れません。少人数での補習を行いますので、担当教員から勧められたら積極的に参加して下さい。</p>						
教科書・参考書						
教科書:市原清志/著 バイオサイエンスの統計学 (南江堂)						
受講時留意点、その他						
<p>授業やテストで使用しますので、ルート($\sqrt{\quad}$)の計算ができる電卓を用意し、指示したときに持ってきて下さい。なお、授業やテストでの関数電卓やプログラム電卓の使用は禁じます。不明な点に関しては担当教員に確認して下さい。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト	100	4回の小テストで成績を評価します。4回の平均で、60%以上を合格の目安とします。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	前半の講義で行う、プレゼンテーション等の出来不出来(内容よりも、真面目に行っているかどうか)を成績に加味する場合があります。質問等の積極的な姿勢は加点の対象とする場合があります。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月4日	オリエンテーションとdesknet'sの使い方(講義の目的の説明と、本校で使用するポータルサイトであるデスクネットの使用法を学ぶ) KW:ユーザーID、パスワード、メール、閲覧板、会議室	中村		PC室
第2回 4月11日	自分をプレゼンしよう (パワーポイントを用いて、自己紹介を作成する)	中村		PC室
第3回 4月18日	履歴書を作ろう (ワードを用いて、自分の履歴書を作成する)	中村		PC室
第4回 4月25日	表計算って何? (エクセルの基本的な機能を理解する)	中村		PC室
第5回 5月9日	統計学とは何か (生物科学において、なぜ統計という概念が必要なのかを理解する) KW:母集団、標本、分布	中村	p1-7	PC室
第6回 5月16日	統計の基礎になる数学 (統計学を理解するために必要な基礎数学について学ぶ) KW:確率、シグマ	中村		PC室
第7回 5月23日	尺度と分布Ⅱ (統計学を理解するために必要な概念について学ぶ) KW:正規分布	中村	p18-21, 24-25	PC室
第8回 5月30日	尺度と分布Ⅰ (統計学を理解するために必要な概念について学ぶ) KW:分類尺度、順序尺度、間隔尺度、比尺度	中村	p9-11	PC室
第9回 6月6日	検定の原理Ⅰ (統計的手法の手順について学ぶ) KW:帰無仮説、対立仮説、検定量、有意水準、確率	中村	p9-11	PC室
第10回 6月13日	検定の原理Ⅱ (統計的手法の手順について例題を用いて学ぶ) KW:帰無仮説、対立仮説、検定量、有意水準、確率	中村	p14-25	PC室
第11回 6月20日	対応のある2群の差の検定Ⅰ (1標本のパラメトリック検定である、1標本t検定の原理を学ぶ)	中村	p14-25	PC室
第12回 6月27日	対応のある2群の差の検定Ⅱ (前回の続き)	中村	p28-41	PC室
第13回 7月4日	対応のある2群の差の検定Ⅲ (前回の続き)	中村	p28-41	PC室
第14回 7月11日	対応のある2群の差の検定Ⅳ (1標本のノンパラメトリック検定である、Wilcoxon検定の原理を学ぶ)	中村	p50-63	PC室
第15回 7月21日	対応のある2群の差の検定まとめ(小テスト)	中村		講堂
定期試験				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第16回 8月30日	対応のない2群の差の検定Ⅰ (2標本t検定の概要を学ぶ)	中村	p72-89	PC室
第17回 9月6日	対応のない2群の差の検定Ⅱ (t検定に必要なF検定とWelchの検定について学ぶ)	中村	p72-89	PC室
第18回 9月13日	対応のない2群の差の検定Ⅲ (2標本t検定の一連の流れを学ぶ)	中村	p72-89	PC室
第19回 9月20日	対応のない2群の差の検定Ⅳ (Mann-Whitneyの検定を学ぶ)	中村	p90-99	PC室
第20回 9月27日	対応のない2群の差の検定まとめ(小テスト)	中村		109
第21回 10月4日	計数値データの測定Ⅰ (1要因の検定法のうち二項検定を学ぶ)	中村	p116-121	PC室
第22回 10月11日	計数値データの測定Ⅱ (1要因の検定法のうち、 χ^2 乗適合度検定を学ぶ)	中村	p122-123	PC室
第23回 10月18日	計数値データの測定Ⅲ (2要因の検定法のうち、 2×2 のマトリックスの検定法を学ぶ)	中村	p124-129	PC室
第24回 10月25日	計数値データの測定Ⅳ (2要因の検定法のうち、 $1 \times m$ のマトリックスの検定法を学ぶ)	中村	p130-131	PC室
第25回 11月1日	計数値データの測定まとめ(小テスト)	中村		109
第26回 11月8日	回帰と相関Ⅰ (回帰式の求め方を学ぶ)	中村	p204-211	PC室
第27回 11月15日	回帰と相関Ⅱ (回帰式の傾きの有意性の検定を学ぶ)	中村	p212-217	PC室
第28回 11月22日	回帰と相関Ⅲ (相関係数の求め方と相関係数の有意性の検定を学ぶ)	中村	p224-231	PC室
第29回 11月29日	統計的検定についてのまとめ	中村		PC室
第30回 12月6日	回帰と相関まとめ(小テスト)	中村		109
定期試験				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
基礎	心理学	2	30	必修	-
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
両学科・1年次	中村 直人	臨床心理学、生理学、運動学、等			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	人間の行動や基礎にある原理を学び、こころの理解に必要な基本的知識を身につける。				
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 行動を引き起こす入力としての感覚・知覚、行動を支える意識・情動について理解する。 2. 行動を司るメカニズムとしての学習・記憶・思考について理解する。 3. 個人を形作る特徴と人同士のかかわり合いによる行動の変化について理解する。 				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>理学療法士・作業療法士は、体や心にハンディキャップを持つ人をサポートすることが仕事です。そのため、健常人の心を知っておくことは非常に重要です。</p> <p>皆さんが将来受験する国家試験では「心理学」という分野はありませんが、関係する設問が色々な分野(特に臨床心理学、運動学、生理学等)にまたがって出題されるので、単なる教養科目と思わないで受講して下さい。</p>					
教科書・参考書					
教科書は使用せず、プリントを配布します。					
受講時留意点、その他					
時間変更等の連絡は主にデスクネット(本校で使用されているポータルサイト)で行います。一日に数度はチェックするよう心がけて下さい。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	前期末試験を行います。100点満点の60点以上を合格とします。			
小テスト	*	三回の小テストを行います。定期試験に沿った出題をしますので、評価には含めませんが真面目に受けて下さい。不真面目な答案は減点の対象となる場合があります。			
レポート	0				
実技試験	0				
プレゼンテーション	0				
その他	*	質問等の積極的な姿勢は加点の対象とする場合があります。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回	感覚と知覚(我々の行動を引き起こすメカニズムの入り口としての感覚と知覚を視覚を例にとつて学ぶ) KW:桿体、錐体、盲点、奥行き知覚、恒常性、錯視	中村		
第2回	意識(我々の行動を支える意識の活動とその変容について学ぶ) KW:サーカディアンリズム、感覚遮断、催眠、薬物依存	中村		
第3回	学習Ⅰ(我々の行動を引き起こす学習の基礎について学ぶ) KW:古典的条件づけ、オペラント条件づけ、弁別、般化、強化	中村		
第4回	学習Ⅱ(人間の運動学習に深くかかわる概念を学ぶ) KW:結果の知識、遂行の知識、分散学習と集中学習、運動プログラム	中村		
第5回	第一回小テスト 1-4回までの内容の確認と解説を行う。	中村		
第6回	記憶(我々が頭の中に情報を保持するための基本的メカニズムについて学ぶ) KW:忘却、干渉、宣言的記憶、手続き的記憶	中村		
第7回	動機づけ(我々の行動を強めたり弱めたりする機能について学ぶ) KW:生理的動機、内発的動機、社会的動機	中村		
第8回	情動(行動を我々の意図とは異なる方向へ導くメカニズムについて学ぶ) KW:末梢説、中枢説、パペッツの回路、二重構造説、扁桃体	中村		
第9回	ストレスとコーピング(同じ刺激でも異なる影響を引き起こすメカニズムとストレスへの対処について学ぶ) KW:ストレス、HPA軸、汎適応症候群、A型行動パターン	中村		
第10回	第二回小テスト 6-9回までの内容の確認と解説を行う。	中村		
第11回	パーソナリティーと診断(我々の個性を形作る特徴とその測定法について学ぶ) KW:類型論、特性論、質問紙法、作業検査法、投影法、テストバッテリー	中村		
第12回	思考と言語Ⅰ(我々が「考えている」とき、頭の中でどのようなことが起こっているかについて学ぶ) KW:問題解決、表象、概念	中村		
第13回	思考と言語Ⅱ(我々はどうのようなやり方で考え、その結果をどのように整理しているかについて学ぶ) KW:推論、文章理解	中村		
第14回	人間関係の心理(他者の存在が我々の行動にどのように影響するか学ぶ) KW:アイヒマン実験、認知的不協和、責任の拡散、リスクシフト	中村		
第15回	第三回小テスト 11-14回までの内容の確認と解説を行う。	中村		
定期試験	前期末試験	中村		

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
基礎	科学哲学	2	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科1年 作業療法学科1年	岩崎 大(非常勤)				
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	科学哲学の認識を経て、リハビリテーションに関わる者として、そして一人の人間として、科学的、哲学的に自問していく素養を身に着ける				
行動目標 (SBO)					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>科学は人類の生活を豊かにしてきた。しかしその一方で、科学が人類に様々な危機をもたらしていることも事実である。本講義では、リハビリテーションを含む、人間の生、そして死のあらゆる営みに関与する科学の実相を明らかにしていく。科学を哲学的に分析することによって、科学のもつ普遍性、確実性は脅かされることとなる。本講義の目標は、科学哲学の認識を経て、リハビリテーションに関わる者として、そして一人の人間として、科学的、哲学的に自問していく素養を身に着けることにある。</p>					
教科書・参考書					
<p>稲垣 諭『リハビリテーションの哲学あるいは哲学のリハビリテーション』. 春風社 <参考図書>A.F. チャルマーズ『科学論の展開』恒星社厚生閣 岩崎大『生死学－死の隠蔽から自己確信へー』. 春風社 その他、講義中に適宜示唆する。</p>					
受講時留意点、その他					
<p>前期、隔週火曜日の3, 4限に開講。 講義形式であるが、参加型の課題やグループディスカッション、映像作品の視聴も行う。</p> <p>哲学とは、知識を蓄積することではなく、生の経験から問いを立て、自らの思考を展開していくことである。そのため講義では、問いを自らの生に関わる問題としてとらえ、思案する態度が重要である。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	前期末試験を行う。			
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月5日	哲学とは何か	岩崎		講堂
第2回 4月5日	哲学に何ができるのか	岩崎		講堂
第3回 4月19日	科学的な推論とは①	岩崎		講堂
第4回 4月19日	科学的な推論とは②	岩崎		講堂
第5回 5月10日	「全てのカラスは黒い？」(帰納法の問題)①	岩崎		講堂
第6回 5月10日	「全てのカラスは黒い？」(帰納法の問題)②	岩崎		講堂
第7回 5月24日	反証主義	岩崎		講堂
第8回 5月24日	理論負荷性	岩崎		講堂
第9回 6月7日	科学の発展①	岩崎		講堂
第10回 6月7日	科学の発展②	岩崎		講堂
第11回 6月21日	リハビリテーションと哲学①	岩崎		講堂
第12回 6月21日	リハビリテーションと哲学②	岩崎		講堂
第13回 7月5日	臨床における倫理的問題①	岩崎		講堂
第14回 7月5日	臨床における倫理的問題②	岩崎		講堂
第15回 7月19日	まとめ *3時限目	岩崎		講堂
定期試験	前期末試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
基礎	健康科学	1	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科1年 作業療法学科1年	佐藤 哲守(非常勤)	スポーツ科学 ほか			
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	心肺蘇生法とAEDについての知識と技術を修得する。				
行動目標 (SBO)	1)心肺蘇生法とAEDの基礎知識を理解する。 2)AEDを実際に使用出来るようする。 3)心肺蘇生法の実技を修得する。				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>前期は、心と身体の両面から健康を捕らえ直し、実習を通して基礎体力と人間性を磨くことを目標とします。 後期は、心肺蘇生法とAEDについての知識と技術修得を目標とします。 この授業は通年で開講し、単位(1)は前後期通じての単位となります。このシラバスは後期分のみ掲載です。前期分は配布済みですので、そちらを参照して下さい。</p>					
教科書・参考書					
<p>①BLS Heartsaver Guide 心肺蘇生及び気道閉塞の応急手当受講生ハンドブック(America Heart Association) ②Public Access Defibrillation Seminar Note(国際救命救急協会) 教材：①CPR用手袋付きQマスク(後期授業内配布)、②ストレッチマット</p>					
受講時留意点、その他					
ストレッチマットは授業前に手元に用意すること。前期配布の教科書を必ず持参すること。体操のできる服装で出席すること。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験					
小テスト	70	前期は、最終授業時にテストを行う(50点)。 後期は、救急法の筆記テストを行う(20点)。			
レポート					
実技試験	30	救急法の実技テストを行う(30点)。			
プレゼンテーション					
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月4日	健康とコンディショニングについて、目標設定と意欲の向上	佐藤		PC室
第2回 4月11日	健康とコンディショニングについて、目標設定と意欲の向上	佐藤		PC室
第3回 4月18日	健康の為の体操、感情コントロール	佐藤		PC室
第4回 4月25日	健康の為の体操、感情コントロール	佐藤		PC室
第5回 5月9日	ダイエットと体操、コミュニケーション能力の高め方	佐藤	p1-7	PC室
第6回 5月16日	ダイエットと体操、コミュニケーション能力の高め方	佐藤		PC室
第7回 5月23日	運動器候群とロコトレ、リラックスと集中力	佐藤	p18-21, 24-25	PC室
第8回 5月30日	運動器候群とロコトレ、リラックスと集中力	佐藤	p9-11	PC室
第9回 6月6日	柔軟性トレーニング、イメージコントロール法	佐藤	p9-11	PC室
第10回 6月13日	柔軟性トレーニング、イメージコントロール法	佐藤	p14-25	PC室

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第11回	CPR + AED 講義 1	佐藤		講堂
第12回	CPR + AED 講義 2	佐藤		講堂
第13回	CPR + AED 実技 1	佐藤		講堂
第14回	CPR + AED 実技 2	佐藤		講堂
第15回	実技テスト・筆記テスト	佐藤		講堂

※ 8グループに分かれて行う。下記日程のうち、1日受講する。
9/10(土) ・ 10/15(土) ・ 10/29(土)
11/12(土) ・ 11/19(土) ・ 12/3(土) ・ 12/10(土) ・ 12/17(土)

※ 第11回は9:00に授業が開始できるよう参加者全員で準備すること
・各自ストレッチマット準備
・プリント配布完了
・ポータブルベッド1台
・練習用AED人形準備

※ 第15回は18:15を終了予定時刻とする

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
基礎	英語 I	2	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科1年 作業療法学科1年	Jeremy Whitehead(非常勤)	英語A、英語B			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	医療に関連した英語を学ぶ。				
行動目標 (SBO)	①カルテに書かれている英語を理解する。 ②英語医療論文を読解する手段を知る。 ③医療現場で簡単なコミュニケーションを図れる。				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
療法士にとって、流暢な英語を修得することは必ずしも必要ではない。①カルテに書かれている英語を理解すること、②英語医療論文を読解する手段を知ること、③医療現場での簡単なコミュニケーションが図れること、が本講義での授業目標である。また、医学用語のラテン語やギリシア語の起源を学ぶことにより専門用語の理解を深める手段を学んでいく。					
教科書・参考書					
Textbooks 1. (50-50) Fifty-Fifty - A speaking and listening course- Intro, 3rd Edition; by Warren Wilson & Roger Barnard, Published by Pearson Longman 2007. 2. (BET) Basic English Textbook for Learners of Rehabilitation Sciences リハビリテーションの基礎英語, by Masako Shimizu, Published by Medical View 2009 3. (E4N) 看護系学生のための実践英語 English for Nurses山中マーガレット, Patricia Parker Asahi Press.					
受講時留意点、その他					
前期、毎週水曜日に開講する。 適宜小テストを実施すると同時に、授業への参加態度も評価する。予習、復習と積極的な授業参加を期待する。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験		前期末試験を行う。			
小テスト		30分程度の小テストを行うことがある。			
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他		出席(30分程度の小テストを兼ねることもある)、課題、授業態度、グループワーク、期末試験を総合的に評価する。詳細については初回授業で説明する予定。A test at the beginning of the course, a short quiz every lesson, and a 60 minute exam at the end. Attitude, Class participation, & Improvement will all be important.			
(合計)					

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月6日	コースオリエンテーション、 Test, 50-50 Getting started: Introductory exercises Handwriting practice BET - Chapter 1: What's Rehabilitation?	Jeremy Whitehead		講堂
第2回 4月13日	Quiz about last lesson. E4N Lesson 1:Is this your first visit to the hospital? Handwriting practice BET Chapter 4 Part 1 Bone Fracture	Jeremy Whitehead		講堂
第3回 4月20日	Quiz about last lesson. 50-50 Lesson 1: Spelling & Numbers. Handwriting practice BET Chapter 2 Part 1 Plane & Direction	Jeremy Whitehead		講堂
第4回 4月27日	Quiz about last lesson. E4N Lesson 2: What's the matter? Handwriting practice BET Chapter 4 Part 2 Chronic Back Pain	Jeremy Whitehead		講堂
第5回 5月11日	Quiz about last lesson. 50-50 Lesson 2: Countries and languages Handwriting practice BET Chapter 2 Part 2 The Range of Motion (ROM) part I	Jeremy Whitehead		講堂
第6回 5月18日	Quiz about last lesson. E4N Lesson 3: You need to go to Dermatology Handwriting practice BET Chapter 4 Part 3 Arthritis	Jeremy Whitehead		講堂
第7回 5月25日	Quiz about last lesson. 50-50 Lesson 3: Locations Handwriting practice BET Chapter 2 Part 2 The Range of Motion (ROM) part II	Jeremy Whitehead		講堂
第8回 6月1日	Quiz about last lesson. E4N Lesson 4: Let me direct you to Radiology Handwriting practice BET Chapter 4 Part 4 Sports Injury	Jeremy Whitehead		講堂
第9回 6月8日	Quiz about last lesson. 50-50 Lesson 4: Actions Handwriting practice BET Chapter 2 Part 2 The Range of Motion (ROM) part III	Jeremy Whitehead		講堂
第10回 6月15日	Quiz about last lesson. E4N Lesson 5:Let's check your height& weight Handwriting practice BET Chapter 4 Part 5 Parkinson's disease	Jeremy Whitehead		講堂
第11回 6月22日	Quiz about last lesson. Handwriting practice BET Chapter 2 Part 2 The Range of Motion (ROM) part IV Positions	Jeremy Whitehead		講堂
第12回 6月29日	Quiz about last lesson. E4N Lesson 6: I need to ask you some questions Handwriting practice BET Chapter 4 Part 6 Stroke	Jeremy Whitehead		講堂
第13回 7月6日	Quiz about last lesson. 50-50 Lesson 6: Occupations Handwriting practice BET Chapter 2 Part 3 Major Joints & Regions of the Body	Jeremy Whitehead		講堂
第14回 7月13日	Quiz about last lesson. E4N Lesson 7: Can you describe the pain? Handwriting practice BET Chp.4 Part7(b) Chronic Obstructive Pulmonary Disease	Jeremy Whitehead		講堂
第15回 7月20日	Quiz about last lesson. 50-50 Lesson 7: Free time activities Exam preview Handwriting practice BET Chapter 4 Part 7(a) Dysphagia & 8 Speech Disorders	Jeremy Whitehead		講堂
定期試験	前期末試験(試験期間7/25~7/28のうち3限12:30~)	Jeremy Whitehead		講堂

授業科目区分	授業科目名		単位	時間	必修・選択	聴講生受入
基礎	英語A		1	15	選択	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科1年 作業療法学科1年	Jeremy Whitehead(非常勤)	英語 I				
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	医療に関連した英語を学ぶ。					
行動目標 (SBO)	①カルテに書かれている英語を理解する。 ②英語医療論文を読解する手段を知る。 ③医療現場で簡単なコミュニケーションを図れる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>療法士にとって、流暢な英語を修得することは必ずしも必要ではない。①カルテに書かれている英語を理解すること、②英語医療論文を読解する手段を知ること、③医療現場での簡単なコミュニケーションが図れること、が本講義での授業目標である。英語 I では、基本的英会話と、医療現場で使用される可能性のある簡単な英会話を学んでいく。また、療法士に必要な用語を学習する。</p>						
教科書・参考書						
<p>Textbooks 1. (50-50) Fifty-Fifty – A speaking and listening course- Intro, 3rd Edition; by Warren Wilson & Roger Barnard, Published by Pearson Longman 2007. 2. (BET) Basic English Textbook for Learners of Rehabilitation Sciences (Revised 2nd edition) リハビリテーションの基礎英語(改訂第2版), by Masako Shimizu, Published by Medical View 2015 3. (E4N) 看護系学生のための実践英語 English for Nurses山中マーガレット, Patricia Parker Asahi Press.</p>						
受講時留意点、その他						
<p>後期、毎週月曜日3時限目に開講する。 授業方法;講義、グループワーク演習, Pair work. Quizzes. Roleplays. Listening exercises. 適宜小テストを実施すると同時に、授業への参加態度も評価する。予習、復習と積極的な授業参加を期待する。Roleplay situations will be challenging but a good chance to use your English as much as you can. Use your imagination and don't worry about making mistakes! 講義内容は変更することがある。Reviewing and previewing the lessons will be helpful. This will be a fun continuation to English in medical situations with a new situation each week.</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験		前期末試験を行う。				
小テスト		30分程度の小テストを行うことがある。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		出席(30分程度の小テストを兼ねることもある)、課題、授業態度、グループワーク、期末試験を総合的に評価する。詳細については初回授業で説明する予定。A test at the beginning of the course, a short quiz every lesson, and a 60 minute exam at the end. Attitude, Class participation, & Improvement will all be important.				
(合計)						

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 8月29日	コースオリエンテーション、 Test 50-50 8: Possessions E4N 8: Rest your arm on the armrest Handwriting practice	Jeremy Whitehead		講堂
第2回 9月5日	E4N 9: Please make a follow-up appointment. BET Chapter 3 Part 1 The Skeletal System (a) Handwriting	Jeremy Whitehead		講堂
第3回 9月12日	E4N 10: Take this medicine after meals. BET Chapter 3 Part 1 The Skeletal System (b) Handwriting	Jeremy Whitehead		講堂
第4回 9月26日	E4N 11: Your operation will be this afternoon. 50-50 11: The past I BET Chapter 3 Part 2 The Muscular System (a) Handwriting	Jeremy Whitehead		講堂
第5回 10月3日	E4N 12: Are you feeling more comfortable now? BET Chapter 3 Part 2 The Muscular System (b) Handwriting	Jeremy Whitehead		講堂
第6回 10月17日	E4N 13: This is an emergency. 50-50 13: Future 'going to' BET Chapter 3 Part 3 The Nervous System (a) Handwriting	Jeremy Whitehead		講堂
第7回 10月24日	E4N 14: Test show you have high sugar levels. 50-50 14: On the telephone BET Chapter 3 Part 3 The Nervous System (b) Handwriting	Jeremy Whitehead		講堂
第8回 10月31日	Exam preview Handwriting	Jeremy Whitehead		講堂
定期試験 11月21日	後期末試験	Jeremy Whitehead		講堂

※再試験:12/5(月)3.4時限目

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
基礎	英語B	1	15	選択	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科1年 作業療法学科1年	Jeremy Whitehead(非常勤)	英語 I			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	医療に関連した英語を学ぶ。				
行動目標 (SBO)	①カルテに書かれている英語を理解する。 ②英語医療論文を読解する手段を知る。 ③医療現場で簡単なコミュニケーションを図れる。				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>療法士にとって、流暢な英語を修得することは必ずしも必要ではない。①カルテに書かれている英語を理解すること、②英語医療論文を読解する手段を知ること、③医療現場での簡単なコミュニケーションが図れること、が本講義での授業目標である。英語 I では、基本的英会話と、医療現場で使用される可能性のある簡単な英会話を学んでいく。また、療法士に必要な用語を学習する。</p>					
教科書・参考書					
<p>Textbooks 1. (50-50) Fifty-Fifty – A speaking and listening course– Intro, 3rd Edition; by Warren Wilson & Roger Barnard, Published by Pearson Longman 2007. 2. (BET) Basic English Textbook for Learners of Rehabilitation Sciences (Revised 2nd edition) リハビリテーションの基礎英語(改訂第2版), by Masako Shimizu, Published by Medical View 2015 3. (E4N) 看護系学生のための実践英語 English for Nurses山中マーガレット, Patricia Parker Asahi Press.</p>					
受講時留意点、その他					
<p>後期、毎週月曜日4時限目に開講する。 授業方法;講義、グループワーク演習, Pair work. Quizzes. Roleplays. Listening exercises. 適宜小テストを実施すると同時に、授業への参加態度も評価する。予習、復習と積極的な授業参加を期待する。Roleplay situations will be challenging but a good chance to use your English as much as you can. Use your imagination and don't worry about making mistakes! 講義内容は変更することがある。Reviewing and previewing the lessons will be helpful. This will be a fun continuation to English in medical situations with a new situation each week.</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験		前期末試験を行う。			
小テスト		30分程度の小テストを行うことがある。			
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他		出席(30分程度の小テストを兼ねることもある)、課題、授業態度、グループワーク、期末試験を総合的に評価する。詳細については初回授業で説明する予定。A test at the beginning of the course, a short quiz every lesson, and a 90 minute exam at the end. Attitude, Class participation, & Improvement will all be important.			
(合計)					

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 8月29日	コースオリエンテーション、 Test Possessions E4N 8: Rest your arm on the armrest practice 50-50 8: Handwriting	Jeremy Whitehead		講堂
第2回 9月5日	E4N 9: Please make a follow-up appointment. BET Chapter 3 Part 1 The Skeletal System (a) Handwriting	Jeremy Whitehead		講堂
第3回 9月12日	E4N 10: Take this medicine after meals. BET Chapter 3 Part 1 The Skeletal System (b) Handwriting	Jeremy Whitehead		講堂
第4回 9月26日	E4N 11: Your operation will be this afternoon. 11: The past I BET Chapter 3 Part 2 The Muscular System (a) Handwriting 50-50	Jeremy Whitehead		講堂
第5回 10月3日	E4N 12: Are you feeling more comfortable now? 12: The past II BET Chapter 3 Part 2 The Muscular System (b) Handwriting 50-50	Jeremy Whitehead		講堂
第6回 10月17日	E4N 13: This is an emergency. Future 'going to' BET Chapter 3 Part 3 The Nervous System (a) Handwriting 50-50 13:	Jeremy Whitehead		講堂
第7回 10月24日	E4N 14: Test show you have high sugar levels. the telephone BET Chapter 3 Part 3 The Nervous System (b) Handwriting 50-50 14: On	Jeremy Whitehead		講堂
第8回 10月31日	Exam preview Handwriting	Jeremy Whitehead		講堂
定期試験 11月21日	後期末試験	Jeremy Whitehead		講堂

※再試験:12/5(月)3.4時限目

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	解剖学 I	2	30	必修	可
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療法学科1年	菊池和也	この授業は他の基礎医学、臨床医学系科目、理学療法・作業療法の専門科目の基礎になる学問です。本科目の理解は他教科の理解に直結する。			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	運動器系を理解する				
行動目標 (SBO)	運動に必要な骨格系、筋系、脊髄神経がわかる。				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
骨、筋、神経を別に覚えたり理解するのではなくこの3つの系統が人の運動を行っていることを理解してほしい。専門用語については確実に身につけること。不明な点は可能な限りその日に解決するように努力すること。調べてもわからない場合は質問する習慣をつけること。また、可能な限り図示できるようにすること。					
教科書・参考書					
教科書:カラー人体解剖学,F.H. マティーニ 他,西村書店。 推薦参 考書:Know the Body 筋・骨格の理解と触診のすべて、Joseph E.Muscolino原著 日高正巳 監訳、医歯薬出版。 必要に応じて資料を配布する。					
受講時留意点、その他					
携帯電話の電源は切ること。居眠り、不要な私語は厳重に注意をする。教科書は事前に必ず読むこと。図を模写する場合があるので色鉛筆、ノート類などの準備をしておくこと。専門用語は必ず覚えて読み書きができるようにすること。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	前期期末試験を実施する。合格基準は60%以上とする。			
小テスト		確認小テストを5回実施予定とする。但し、成績には影響しない。			
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他					
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月6日	運動器に必要な解剖学用語 ワード: 身体の部位、人体の面と方向、関節運動の用語	キー 菊池	p11~14、	
第2回 4月13日	骨、関節の構造と機能 キーワード: 骨組織、構造、機能、発生と成長、関節構造	菊池	p54~57、p85 ~99	
第3回 4月20日	筋の組織学的分類と構造 キーワード: 横紋筋、平滑筋、筋線維細胞	菊池	p59~61、 p189~197	
第4回 4月27日	脊髄と脊髄神経の構造 ワード: 髄膜、脊髄断面、神経根、脊髄神経節、前枝、後枝	キー 菊池	p277~284	
第5回 5月11日	【第1~4回目の復習】 上肢の筋 1: 筋名 キーワード: 上肢帯の筋、肩関節の筋、上腕の筋、前腕の筋、手関節・手指の筋	菊池	p226~238	
第6回 5月18日	【第5回の復習】 の筋 2: 骨付着部 ワード: 肩甲骨、上腕骨、橈骨、尺骨、手根骨、指骨	上肢 キー 菊池	p226~238	
第7回 5月25日	上肢の筋 3: 手指に作用する筋 キーワード: 手外在筋、手内在筋、母指球筋	菊池	p226~238	
第8回 6月1日	上肢の筋 4: 上肢の断面図 キーワード: 肩関節断面、上腕断面、前腕断面、手根管部断面	菊池	p226~238	
第9回 6月8日	上肢の筋 5: 支配神経 キーワード: 脊髄髄節、腕神経叢、上肢脊髄神経走行、筋への分岐	菊池	p287~294	
第10回 6月15日	【第5回~9回の復習】	菊池		
第11回 6月22日	下肢の筋 1: 筋名 キーワード: 下肢帯の筋、股関節内転筋、大腿筋、下腿筋	菊池	p239~252	
第12回 6月29日	【第11回の復習】 筋 2: 骨付着部位の名称 キーワード: 骨盤、大腿骨、脛骨、腓骨、足根骨	下肢 菊池	p226~252	
第13回 7月6日	下肢の筋 3: 下肢の断面図 キーワード: 大腿断面、下腿断面	菊池	p226~252	
第14回 7月13日	下肢の筋 4: 下肢筋の神経支配 キーワード: 脊髄髄節、腰仙骨神経叢、下肢脊髄神経走行、筋への分岐部	菊池	p287~294	
第15回 7月20日	【第11回~14回の復習】 郭 キーワード: 胸郭の構成、呼吸運動、呼吸筋	胸 菊池	p133~135、 p216~219	
定期試験	前期期末試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	解剖学Ⅱ	1	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科1年 作業療法学科1年	安藤 亨(非常勤)	解剖学Ⅰ、生理学、人体構造学			
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	人体の構造を理解する。				
行動目標 (SBO)	神経系・感覚器系・呼吸器系・循環器系・消化器系 の構造				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>人の動きに直接関与する筋骨格系はもとより、動きを指令する神経系や動きを感知する感覚器系を十分熟知することと、動作を遂行するためのエネルギーの視点から呼吸器系・循環器系・消化器系などについても理解を深める。 解剖学Ⅱでは、特に、神経系や感覚器、呼吸器系・循環器系・消化器系について学ぶ。</p>					
教科書・参考書					
野村巖／編:標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第4版. 医学書院					
受講時留意点、その他					
前期、毎週月曜日の3限に開講します。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	定期試験(前期末試験)を行う。			
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月4日	解剖学総論 定義・目的、人体の概要、解剖学用語、人体の構成 感覚器系 外皮、視覚器、平衡聴覚器、嗅覚器、味覚器	安藤		講堂
第2回 4月11日	感覚器系 外皮、視覚器、平衡聴覚器、嗅覚器、味覚器	安藤		講堂
第3回 4月18日	神経系総論、末梢神経系① 神経系総論、脳神経脳神経	安藤		講堂
第4回 4月25日	末梢神経系② 脳神経、自律神経	安藤		講堂
第5回 5月2日	中枢神経系① 大脳	安藤		講堂
第6回 5月9日	中枢神経系② 伝導路	安藤		講堂
第7回 5月16日	中枢神経系③ 小脳、脳幹、脊髄	安藤		講堂
第8回 5月23日	循環器系① 血管系:心臓、循環系の分類	安藤		講堂
第9回 5月30日	循環器系② 血管系:動脈系、静脈系、胎生期の循環系	安藤		講堂
第10回 6月6日	循環器系③、他 リンパ系、理学・作業療法との関連、人体の発生	安藤		講堂
第11回 6月13日	内臓学① 内臓器官の構造、消化器系	安藤		講堂
第12回 6月20日	内臓学② 消化器系	安藤		講堂
第13回 6月27日	内臓学③ 呼吸器系、内分泌系	安藤		講堂
第14回 7月4日	内臓学④ 泌尿器系、生殖器系	安藤		講堂
第15回 7月11日	感覚器系・神経系・循環器系・内臓学 第1回～第14回のまとめ	安藤		講堂
定期試験 未定	前期末試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入																		
専門基礎	解剖学実習	2	60	必修	—																		
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目																					
作業療法学科 1年	植田伊津子・菊池和也・渡邊祥子 岡本博行・松尾祐介・中村毎途・市村紋子	解剖学Ⅰ、運動学(1年次) 作業療法評価学、身体障害作業療法評価学、神経機能評価学、作業療法評価学 実習(2年次)																					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示																							
一般目標 (GIO)	(前期)人の体に触れ動かせるようになるために、運動器の構造と機能を立体的に把握する。 (後期)症例について考えられるようになるために、神経や循環器の構造と機能を立体的に把握する。 チーム医療に携われるようになるために、グループ学習に取り組む姿勢を育める。																						
行動目標 (SBO)	<table border="0"> <tr> <td>① 骨の名称及び部位名称が言える。</td> <td>⑤ 骨格筋同士の位置関係が図示できる。</td> </tr> <tr> <td>② ①を骨格模型上で指し示す事ができる。</td> <td>⑥ 骨格筋の起始・停止・神経支配が言える。</td> </tr> <tr> <td>③ 骨格筋の名称が言える。</td> <td>⑦ 起始・停止から作用を考えることができる。</td> </tr> <tr> <td>④ ③を筋模型上で指し示す事ができる。</td> <td>⑧ 授業中模型に沢山触れて学習することができる。</td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td>① 頭蓋骨の部位名称が言え、模型で指し示せる。</td> <td>⑤ 脳神経が言え、模型で指し示せる。</td> </tr> <tr> <td>② 脳の構造の区分が言える。</td> <td>⑥ 伝導路を図示できる。</td> </tr> <tr> <td>③ 脳の部位名称が言える。</td> <td>⑦ 心臓の構造が図示できる。</td> </tr> <tr> <td>④ 脊椎の構造および神経叢が図示できる。</td> <td>⑧ 脳の動脈が図示できる。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑨ 胸部および背部筋、手の筋の走行が言える。</td> </tr> </table>					① 骨の名称及び部位名称が言える。	⑤ 骨格筋同士の位置関係が図示できる。	② ①を骨格模型上で指し示す事ができる。	⑥ 骨格筋の起始・停止・神経支配が言える。	③ 骨格筋の名称が言える。	⑦ 起始・停止から作用を考えることができる。	④ ③を筋模型上で指し示す事ができる。	⑧ 授業中模型に沢山触れて学習することができる。	① 頭蓋骨の部位名称が言え、模型で指し示せる。	⑤ 脳神経が言え、模型で指し示せる。	② 脳の構造の区分が言える。	⑥ 伝導路を図示できる。	③ 脳の部位名称が言える。	⑦ 心臓の構造が図示できる。	④ 脊椎の構造および神経叢が図示できる。	⑧ 脳の動脈が図示できる。		⑨ 胸部および背部筋、手の筋の走行が言える。
① 骨の名称及び部位名称が言える。	⑤ 骨格筋同士の位置関係が図示できる。																						
② ①を骨格模型上で指し示す事ができる。	⑥ 骨格筋の起始・停止・神経支配が言える。																						
③ 骨格筋の名称が言える。	⑦ 起始・停止から作用を考えることができる。																						
④ ③を筋模型上で指し示す事ができる。	⑧ 授業中模型に沢山触れて学習することができる。																						
① 頭蓋骨の部位名称が言え、模型で指し示せる。	⑤ 脳神経が言え、模型で指し示せる。																						
② 脳の構造の区分が言える。	⑥ 伝導路を図示できる。																						
③ 脳の部位名称が言える。	⑦ 心臓の構造が図示できる。																						
④ 脊椎の構造および神経叢が図示できる。	⑧ 脳の動脈が図示できる。																						
	⑨ 胸部および背部筋、手の筋の走行が言える。																						
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など																							
<p>作業療法士は対象者の体に触れるお仕事です。そのため人体の構造を理解しておくことは、対象者に怪我を負わせないために必要なこととなります。特に解剖学実習では骨・筋・脳といった理学療法士・作業療法士にとって最も必要な知識を、立体的に把握するための授業となります。そのためこの授業では模型を使用していきます。模型に沢山触れ学ぶ事を推奨いたします。基礎医学実習室は、放課授業等で使用していない時間や放課後使用することができます。職員室で鍵を借りて下さい。その際鍵は必ず借りた人が返して下さい。もし他の人が継続して借りたい場合は、職員室で手続きをして下さい。</p> <p>この授業に関する質問は授業担当教員まで。</p>																							
教科書・参考書																							
<p>教科書:F.H. マティーニ 他 『カラー人体解剖学』(西村書店) 参考書:坂井建雄, 村松譲児監訳 『プロメテウス解剖学アトラス』(医学書院) / 村松譲児 『イラスト解剖学』(中外医学社) 加藤征 『Qシリーズ 新解剖学』(日本医事新報社)</p>																							
受講時留意点、その他																							
<p>受講時は長白衣着用とします。本講座中にふざける、騒ぐ、教材に対して不敬な態度をとることを禁止します。髪の毛の長い学生は結んで下さい。その際顔の横の髪もピンなどで止め、垂れないように工夫して下さい。</p> <p>積極的に模型に触れる姿勢が求められます。グループは変更する場合があります。</p> <p>飲食は禁止です。放課後であっても教室での飲食は禁止となります。また持ち込みも禁止です。</p> <p>授業終了後、出席カードを提出して頂きます。未提出や不正があった場合は欠席とみなしますので注意して下さい。</p>																							
成績評価方法																							
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など																					
定期試験	100	前・後期末試験(再試験がある場合は再試験も)を通算し、年間を通しての評価とします。最終評定は学則第4章、成績の評価に準じます。																					
小テスト	*	成績評価には含まず形成的評価とし、学習の振り返りのために行います。																					
レポート	*	レポートを課した場合、形式を守って記載しており、内容が充実しているものに関して加点の対象とする場合があります。																					
実技試験	0																						
プレゼンテーション	0																						
その他	*	科目に対する興味、関心、学習に対する積極性が良好な場合、加点の対象とする場合があります。授業に対する迷惑行為や協同学習不参加、欠席は減点の対象とする場合があります。																					
(合計)	100																						

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月8日	コースオリエンテーション、骨の名称 科目の目的、目標、スケジュール等の確認。骨名称の付けられ方を学ぶ。 <u>SBO①⑧</u>	植田(伊) 渡邊	97～102	基礎医学実 習室
第2回 4月21日	上肢骨学：肩甲骨・鎖骨・上腕骨 それぞれの骨の部位名称を学ぶ。 <u>SBO①②⑧</u>	松尾	141～145	基礎医学実 習室
第3回 4月28日	上肢骨学：橈骨・尺骨・手・手指 それぞれの骨の部位名称を学ぶ。 <u>SBO①②⑧</u>	岡本	145～150	基礎医学実 習室
第4回 5月2日	上肢筋学：上肢帯の筋 上肢帯の筋の位置、起始、停止、作用、支配神経を学ぶ。 <u>SBO③～⑧</u> 【キーワード】三角筋、棘上筋、棘下筋、大円筋、小円筋、肩甲下筋	中村(毎)	226～229	基礎医学実 習室
第5回 5月17日	上肢筋学：上腕および肘周囲の筋 上腕の筋の位置、起始、停止、作用、支配神経を学ぶ。 <u>SBO③～⑧</u> 【キーワード】烏口腕筋、上腕二頭筋、上腕筋、上腕三頭筋、腕橈骨筋	中原	229～231	基礎医学実 習室
第6回 5月19日	上肢筋学：前腕の屈筋 前腕屈筋の位置、起始、停止、作用、支配神経を学ぶ。 <u>SBO③～⑧</u> 【キーワード】橈側手根屈筋、長掌筋、浅指屈筋、深指屈筋、尺側手根屈筋、長母 指屈筋	植田(伊)	231～236	基礎医学実 習室
第7回 5月31日	上肢筋学：前腕の伸筋 前腕伸筋の位置、起始、停止、作用、支配神経を学ぶ。 <u>SBO③～⑧</u> 【キーワード】長短橈側手根伸筋、中指伸筋、小指伸筋、尺側手根伸筋 長母指外転筋、短母指伸筋、長母指伸筋、示指伸筋	岡本	231～236	基礎医学実 習室
第8回 6月2日	上肢の復習 第2～7回までの問題演習と解説を行い、学習方法と理解度を点検する。 <u>SBO①～⑦</u>	植田(伊)	141～150 226～236	109
第9回 6月16日	下肢骨学：骨盤と大腿骨 それぞれの骨の部位名称を学ぶ。 <u>SBO①②⑧</u>	渡邊	151～159	基礎医学実 習室
第10回 6月16日	下肢骨学：脛骨・腓骨・足・足趾 それぞれの骨の部位名称を学ぶ。 <u>SBO①②⑧</u>	渡邊	159～163	基礎医学実 習室
第11回 6月30日	下肢筋学：下肢帯の筋 下肢帯の筋の位置、起始、停止、作用、支配神経を学ぶ。 <u>SBO③～⑧</u> 【キーワード】大殿筋、中殿筋、小殿筋、大腿筋膜張筋、梨状筋 上下双子筋、内外閉鎖筋、大腿方形筋	渡邊	239～244	基礎医学実 習室
第12回 6月30日	下肢筋学：股関節屈筋と内転筋 股関節内転筋の位置、起始、停止、作用、支配神経を学ぶ。 <u>SBO③～⑧</u> 【キーワード】腸腰筋、恥骨筋、長内転筋、短内転筋、大内転筋、薄筋	宮下	240～245	基礎医学実 習室
第13回 7月8日	下肢筋学：大腿の筋 大腿の筋の位置、起始、停止、作用、支配神経を学ぶ。 <u>SBO③～⑧</u> 【キーワード】縫工筋、大腿四頭筋、大腿二頭筋、半腱様筋、半膜様筋	渡邊	240～241	基礎医学実 習室
第14回 7月14日	下肢筋学：下腿の筋 下腿の筋の位置、起始、停止、作用、支配神経を学ぶ。 <u>SBO③～⑧</u> 【キーワード】前脛骨筋、後脛骨筋、長母趾伸筋、長趾伸筋、長腓骨筋 短腓骨筋、ヒラメ筋、腓腹筋、長母趾屈筋、長趾屈筋	宮下	245～249	基礎医学実 習室
第15回 7月21日	下肢の復習 第9～14回までの問題演習と解説を行い、学習方法と理解度を点検する。 <u>SBO①～⑦</u>	渡邊	151～163 239～249	109
定期試験	前期末試験 第1～15回までの内容を骨格・筋模型を使用して実施。		上記全範囲	基礎医学実 習室

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第16回 8月24日	オリエンテーション・胸部と背部の筋 胸部と背部の筋の起始・停止・作用・支配神経について学ぶ 【キーワード】鎖骨下筋、大小胸筋、前鋸筋、肩甲挙筋、僧帽筋、菱形筋、 広背筋	岡本 植田	226～229	基礎医学実 習室
第17回 8月30日	手の筋 手の筋の起始・停止・作用・支配神経について学ぶ 【キーワード】母指内転筋、母子対立筋、短母指屈筋、短母指外転筋、虫様筋、 背側骨間筋、掌側骨間筋、長母指伸筋、短母指伸筋、	松尾	236～238	基礎医学実 習室
第18回 9月6日	大脳 脳および大脳の区分と大脳を分けている溝について学ぶ。 【キーワード】葉、回、溝	渡邊	305～312	基礎医学実 習室
第19回 9月13日	視床と大脳基底核 視床や大脳基底核の位置および名称について学ぶ。 【キーワード】外側膝状体、内側膝状体、線条体、レンズ核	渡邊	312～317	基礎医学実 習室
第20回 9月20日	中脳と橋、脳神経① 中脳と橋、脳神経の位置および部位名称について学ぶ。 【キーワード】脳幹、四丘、内側毛帯、網様体、黒質、赤核、大脳脚、橋縦束、脳神経	松尾	317～320 322～325	基礎医学実 習室
第21回 9月27日	延髄と小脳、脳神経② 延髄と小脳、脳神経の位置および部位名称について学ぶ。 【キーワード】薄束核、楔状束核、オリブ、錐体、小脳半球、虫部、片葉、脳神経	松尾	320～322 325～331	基礎医学実 習室
第22回 10月4日	頭蓋骨 頭蓋骨の構造および孔の名称を学ぶ。 【キーワード】脳頭蓋、顔面頭蓋、内頭蓋底	松尾	101～121	基礎医学実 習室
第23回 10月11日	頭部の解剖、体幹筋、手の筋の解剖（復習1） 第16～22回までの問題演習と解説を行い、学習方法と理解度を点検する。	植田	101～121 226～229 236～238 277～293 305～331	109
第24回 10月18日	脊髄と脊髄神経 脊髄の構造や神経叢について学ぶ。 【キーワード】白質、灰白質、腕神経叢	菊池	277～293	基礎医学実 習室
第25回 10月25日	心臓 心臓の構造と心臓を栄養している血管について学ぶ 【キーワード】心房・心室・冠動脈	菊池	417～431	基礎医学実 習室
第26回 11月2日	人体解剖見学実習 解剖学実習だけでなく、関連科目である解剖学で学んだことが、実際の人体では どうなっているのか学ぶ。	—	—	浜松医科 大学
第27回 11月8日	脳の伝導路 上行性・下行性の伝導路の経路について学ぶ。 【キーワード】錐体路、錐体外路、感覚の伝導路	渡邊	335～346	基礎医学実 習室
第28回 11月15日	脳の動脈 脳に血液を送っている動脈について学ぶ。 【キーワード】内頸動脈、椎骨動脈	渡邊	439～447	基礎医学実 習室
第29回 11月22日	脳の断層解剖 CTやMRI画像のように、脳を輪切りにした像について学ぶ。 【キーワード】大脳基底核、内包、脳室	市村紋子	310～311 594～595	基礎医学実 習室
第30回 11月29日	脳と心臓の解剖（復習2） 第24,25, 27～29回までの問題演習と解説を行い、学習方法と理解度を点検する。	植田	277～293 310～311 335～346 417～431 439～447	109
定期試験	後期末試験 第16～30回までの内容をペーパーテストにて実施。			103・4

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	生理学	2	60	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科1年 作業療法学科1年	遠藤 雄三(非常勤)	解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、病理学 等			
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	人体の健全状態における構造と機能について基本的な事実と法則を学ぶ。				
行動目標 (SBO)	植物機能系の理解・運動機能系の理解				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>人体の健全状態における構造と機能について基本的な事実と法則を学ぶ。成人のヒトは百兆個以上の細胞の有機的な営みからなる。まず細胞のことを理解する必要があり、現代医学の基盤である細胞生物学について詳細に説明する。細胞の二つの特質である増殖と分化が細胞生物学の根幹である。多細胞系としての組織と循環系の第一の特徴は細胞相互の関係ならびに内部環境の恒常性(液性ホメオスタシスの概念)である。第二の特徴は生体防御能の細胞性ホメオスタシス(免疫系)である。これらの恒常性は、植物機能系により巧妙に調節されている。特に「負のフィードバック」による調節は内分泌系と自律神経系により維持されている。植物機能系を基盤にして動物機能系が人間としての営みをつかさどっている。さらにそのヒトのからだ(ボディ)はこころ(マインド)によって人間としての品格を維持している。からだは自動車の部品のように精巧にできている。しかしそれを動かし調節するものは健全なる精神あるいは意思である。生理学の授業時間の前半2/3は植物機能系、後半1/3は運動機能系に関するものである。</p>					
教科書・参考書					
<p>1)坂井建雄・岡田隆夫／著：系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学 人体の構造と機能[1]. 医学書院 2)堺 章／著：目で見るからだのメカニズム 新訂版. 医学書院 ほか、配布資料有り。</p>					
受講時留意点、その他					
<p>前期、毎週月曜日の1, 2限に開講する。授業時間内の退出は原則的に禁止。 教科書を中心に講義を行う。各主題について資料(コピー)を配布することがある。 復習は必須。授業に積極的に参加してください。質問歓迎。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	定期試験(前期末試験)を行う。			
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月11日	細胞生物学の基礎① 細胞とは。エネルギー代謝。細胞の増殖と分化。	遠藤		講堂
第2回 4月11日	細胞生物学の基礎② 細胞とは。エネルギー代謝。細胞の増殖と分化。	遠藤		講堂
第3回 4月18日	細胞生物学の基礎③ 細胞相互の関係。細胞と間質。内部環境。	遠藤		講堂
第4回 4月18日	細胞生物学の基礎④ 細胞相互の関係。細胞と間質。内部環境。	遠藤		講堂
第5回 4月25日	血液。体液。免疫。① 単細胞系=血液細胞=免疫細胞:細胞ホメオスタシス	遠藤		講堂
第6回 4月25日	血液。体液。免疫。② 単細胞系=血液細胞=免疫細胞:細胞ホメオスタシス	遠藤		講堂
第7回 5月1日	血液と循環器系① 赤血球の意義。血流と血圧。弾性型動脈と筋型動脈。	遠藤		講堂
第8回 5月1日	血液と循環器系② 赤血球の意義。血流と血圧。弾性型動脈と筋型動脈。	遠藤		講堂
第9回 5月9日	呼吸器と血液① 外呼吸と内呼吸。エネルギー代謝と酸塩基平衡。	遠藤		講堂
第10回 5月9日	呼吸器と血液② 外呼吸と内呼吸。エネルギー代謝と酸塩基平衡。	遠藤		講堂
第11回 5月16日	消化器(エネルギー代謝と同化・異化)① 消化管内環境と消化管内分泌系。	遠藤		講堂
第12回 5月16日	消化器(エネルギー代謝と同化・異化)② 消化管内環境と消化管内分泌系。	遠藤		講堂
第13回 5月23日	内分泌系と腎機能、泌尿器系① 腎機能と液性ホメオスタシス。	遠藤		講堂
第14回 5月23日	内分泌系と腎機能、泌尿器系② 腎機能と液性ホメオスタシス。	遠藤		講堂
第15回 5月30日	腎機能とカルシウム代謝① 内分泌系とカルシウム代謝。	遠藤		講堂

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第16回 5月30日	腎機能とカルシウム代謝② 内分泌系とカルシウム代謝。	遠藤		講堂
第17回 6月6日	動物機能系① 骨格系とカルシウムとビタミンD。	遠藤		講堂
第18回 6月6日	動物機能系② 骨格系とカルシウムとビタミンD。	遠藤		講堂
第19回 6月13日	骨格筋と神経系① 筋収縮と筋弛緩。心筋の特殊性。平滑筋と自律神経系。	遠藤		講堂
第20回 6月13日	骨格筋と神経系② 筋収縮と筋弛緩。心筋の特殊性。平滑筋と自律神経系。	遠藤		講堂
第21回 6月20日	末梢神経系① 感覚神経系と運動神経系。体制神経系と体性神経系。	遠藤		講堂
第22回 6月20日	末梢神経系② 感覚神経系と運動神経系。体制神経系と体性神経系。	遠藤		講堂
第23回 6月27日	中枢神経系① 運動機能系と感覚機能系。五感について。	遠藤		講堂
第24回 6月27日	中枢神経系② 運動機能系と感覚機能系。五感について。	遠藤		講堂
第25回 7月4日	五感と視床下部系と生体防御系とくに免疫系① 体温調節ホメオスタシス。	遠藤		講堂
第26回 7月4日	五感と視床下部系と生体防御系とくに免疫系② 体温調節ホメオスタシス。	遠藤		講堂
第27回 7月11日	栄養と生活習慣① 個体発生と加齢現象、老化現象。	遠藤		講堂
第28回 7月11日	栄養と生活習慣② 個体発生と加齢現象、老化現象。	遠藤		講堂
第29回	呼吸器系 肺気量、ガス交換、酸素解離曲線、酸塩基平衡	宮下		講堂
第30回	循環器系 心筋、刺激伝導系、心拍出量、血圧	菊池 (校長)		講堂
定期試験 未定	前期末試験			講堂

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	運動学	2	60	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科 1年 作業療法学科 1年	内田成男／市村真樹／松尾祐介	解剖学Ⅰ・Ⅱ, 解剖学実習, 生理学, 心理学, 他			
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	理学療法・作業療法の基礎知識として身体運動のメカニズムについて理解する。 人間の運動・動作・行為について運動学的思考ができるようにする。				
行動目標 (SBO)	1) 運動学の意味・生体力学の基本・運動器の構造と機能について理解する。 2) 四肢および胸郭・顔面の運動特性を理解し、運動学的に説明できる。 3) 姿勢・運動・動作・行為を観察し、運動学的な表現と分析ができる。 4) 歩行および上肢運動の特徴をとらえ、観察・分析することができる。 (1, 2:前期, 3, 4:後期)				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>運動学は身体運動に関わる身体構造とそのメカニズム(仕組み)を理解し、力学的に解釈していく学問で、理学療法・作業療法の重要な基礎科目の一つです。解剖学や生理学と連動させて理解を深め、実際の身体運動で確認しながら学ぶ姿勢が大切です。前期では運動学の基本事項を学び、後期では応用編として、姿勢や運動の意味および観察方法を学びます。</p> <p>初めて学ぶ科目で専門用語も多く難しく感じられますが、可能な限り事例に触れながら、具体的に理解できるように授業を進めていきます。また、運動学で学んだことを臨床応用できるよう、可能な限り予習・復習を心がけ、疑問に感じたことは積極的に質問してください。</p>					
教科書・参考書					
<p>教科書: 中村隆一・他: 基礎運動学(第6版・補訂), 医歯薬出版, 2012. 参考書: ①D. A. Neumann著, 嶋田・他訳: 筋骨格系のキネシオロジー, 医歯薬出版, ②塩田 悦仁・訳: カパンディ関節の生理学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 医歯薬出版, ③キルステン・ゲッツ・ノイマン著, 月城慶一・他(訳): 観察による歩行分析, 医学書院, <その他の参考図書・文献は随時講義中に紹介する。></p>					
受講時留意点、その他					
<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士、作業療法士にとって大切な知識となります。体調管理に努め、積極的に学ぶ姿勢で受講してください。 ・疑問点、理解不十分な事項は、その場で勇気を持って質問してください。(後回しにしないように) ・受講時は礼儀正しく、清潔な身だしなみ(頭髪、服装、爪など)を心がけましょう。 ・後期は実際の身体運動を行うためTシャツ、膝の見えるハーフパンツを各自準備してください。 ・学習進度により授業の内容・時間割等を変更する場合には、掲示板、デスクネットなどでお知らせします。 					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	前期末試験、後期末試験を行う。合計点の60%以上を合格の目安とする。			
小テスト	0	小テストは前期3回を予定しています。重要なポイントを把握し、自己の理解度を確認するために実施するものです。成績不良の場合は、小テストの再試験を実施します。成績には含めませんが、真剣に取り組みましょう。			
レポート	*	必要に応じ課題を提示します。原則として成績評価には含めませんが、著しく不良なレポートは、減点の対象となる場合もあります。			
実技試験	0				
プレゼンテーション	0				
その他		<p>学習態度が良好である場合には、加点の対象とする場合がある。 授業中に他者の学習に迷惑となるような、態度・行動は絶対にしないようにしましょう。 (著しい場合には、厳しく対応します。) 正当でない理由での欠席は減点の対象とする場合がある。</p>			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月6日	コースオリエンテーションおよび生体力学の基礎① 運動学の意味および基本用語を理解し、力学の基礎を学ぶ。 【キーワード】運動の面と軸、ベクトル、並進運動、回転運動、モーメントなど	内田	pp1-35	講堂
第2回 4月13日	生体力学の基礎② 運動の法則と身体運動のてこについて理解し、 具体例を挙げて説明できる。 【キーワード】運動の法則、テコの原理、重力、仕事、他	内田	pp35-46	講堂
第3回 4月20日	運動器の基礎①(骨・関節) 骨・関節の基本構造を図説し、関節 の形からの分類と運動自由度について理解する。 【キーワード】骨・関節の基本構造、関節の分類、運動と方向の表現	内田	pp47-72	講堂 骨標本 関節模型
第4回 4月27日	運動器の基礎②(筋) 筋・腱・靭帯の基本構造を理解し、骨格 筋の収縮機序、運動単位について説明できるようにする。 【キーワード】筋の収縮機序、筋線維の分類、運動単位、筋収縮様態	内田	pp72-88	講堂 筋の模型
第5回 5月11日	運動器の基礎③(神経・他) 神経系の基本とシナプスおよび運 動を調整するための反射活動等について理解する。 【キーワード】中枢神経、末梢神経、シナプス、伸張反射、随意運動	内田	pp88-154	講堂 脳・神経の 模型
第6回 5月18日	確認Ⅰ 生体力学と運動器の基礎のまとめ 第1回から5回目までの講義 の要点の復習、 第1～5回目までの小テストを実施。	内田	pp19-154	講堂
第7回 5月25日	上肢帯と肩関節の運動 上肢帯(肩甲帯)と肩関節の構造を 把握し、その運動の特性について説明できる。【キーワード】肩複合体、肩甲骨と肩甲 上腕関節の動き、筋の作用	内田	pp213-224	講堂 骨標本
第8回 6月1日	肘関節・前腕の運動 肘関節と前腕の構造を把握し、そ の運動特性について説明できる。 【キーワード】腕尺・腕橈・上橈尺・下橈尺関節、肘角、筋の作用	松尾	pp224-229	講堂 骨標本
第9回 6月8日	手関節・手の運動① 手関節・手指の構造を把握する。 【キーワード】手根管、CM関節、MP関節、IP関節、手外在筋、手内在筋、手の アーチ、筋の作用、手の変形	松尾	pp229-245	講堂 骨標本
第10回 6月15日	手関節・手の運動② 確認Ⅱ 上肢の運動学のまとめ 第9回の続き:手関節・手指の運動特性について説明できる。【キーワード】手外在 筋、手内在筋、手のアーチ、筋の作用、手の変形 第7～10回目までの小テストを実施	松尾	pp229-245 pp213-245	講堂 骨標本
第11回 6月22日	股関節の運動 股関節の構造を把握し、その運動特性に ついて説明できる。【キーワード】股関節のアライメント、靭帯とその働 き、股関節の動き、二関節筋	内田	pp246-256	講堂 骨標本 治療台
第12回 6月29日	膝関節の運動 膝関節の構造を把握し、その運動特性につ いて説明できる。【キーワード】脛骨大腿関節、膝蓋大腿関節、膝関節の アライメント、靭帯とその働き、rollingとsliding	内田	pp256-260	講堂 骨標本 治療台
第13回 7月6日	足関節と足部の運動 足関節・足部の構造を把握し、その運動特性につ いて説明できる。【キーワード】距腿関節、距骨下関節、ショパール関節、リス フラン関節、内がえし、外がえし、足のアーチ	内田	pp260-271	講堂 骨標本 治療台
第14回 7月13日	下肢の運動学まとめ 確認Ⅲ 下肢の運動学のまとめ 下肢運動学の重要事項の再確認。 第11～13回目までの小テストを実施	内田	pp246-271	講堂
第15回 7月20日	顔面と胸部の運動学・前期授業のまとめ(重要ポイント提示と演習) 顎関節・顔面筋の機能解剖、胸部(呼吸)運動の特性について説明できる。 【キーワード】顎関節、咀嚼、咬筋、表情筋、肋椎関節、呼吸筋、他	内田	pp293-296 前期分全体	講堂 骨標本
定期試験	前期末試験	内田	上記の指定 ページ	講堂 骨標本

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第16回 8月30日	イントロダクション 「姿勢制御とその異常」①姿勢とその制御 【キーワード】 姿勢制御・システム理論・相互作用	市村(真)	基礎運動学 PP347-377配 布資料	講堂
第17回 9月6日	「姿勢制御とその異常」 ②脊柱の機能解剖 【キーワード】 椎体・生理的前彎・脊柱の靱帯	市村(真)	基礎運動学 PP347-377配 布資料	講堂
第18回 9月13日	「姿勢制御とその異常」 ③重心 【キーワード】 重心・支持基底・位置エネルギー・運動エネルギー	市村(真)	基礎運動学 PP347-377配 布資料	講堂
第19回 9月20日	「基本動作の種類と分析」 ①関節運動 【キーワード】運動・動作・行為 関節運動的視点	市村(真)	基礎運動学 PP297-325配 布資料	講堂
第20回 9月27日	「運動学習」 ①運動制御と運動学習の理論について制御する 【キーワード】 学習 記憶 運動技能 フィードバック KR PK	内田	基礎運動学 PP467-500配 布資料	講堂
第21回 10月4日	「運動学習」 ②運動学習の神経学的基礎と練習効果について理解する 【キーワード】 練習課題 学習曲線 動機づけ 転移	内田	基礎運動学 PP467-500 配布資料	講堂
第22回 10月11日	「基本動作の種類と分析」 ②筋活動 【キーワード】筋活動的視点	市村(真)	基礎運動学 PP297-325配 布資料	講堂
第23回 10月18日	「基本動作の種類と分析」 ③スティックピクチャー 【キーワード】動作分析・行程分析	市村(真)	基礎運動学 PP297-325配 布資料	講堂
第24回 10月25日	「基本動作の種類と分析」 ④椅子からの立ち上がり 【キーワード】重心・支持基底・相	市村(真)	基礎運動学 PP297-325配 布資料	講堂
第25回 11月1日	「観察による歩行分析」 ①歩行周期 【キーワード】健全歩行・歩行周期・歩行の条件	市村(真)	基礎運動学 PP379-439配 布資料	講堂
第26回 11月8日	「観察による歩行分析」 ②パッセンジャーとロコモーター 【キーワード】	市村(真)	基礎運動学 PP379-439配 布資料	講堂
第27回 11月15日	「観察による歩行分析」 ③歩行中の各関節の運動 【キーワード】ロッカーファンクション・骨盤	市村(真)	基礎運動学 PP379-439配 布資料	講堂
第28回 11月22日	「観察による歩行分析」 ④観察による歩行分析 【キーワード】異常歩行	市村(真)	基礎運動学 PP379-439配 布資料	講堂
第29回 11月29日	「観察による上肢の動作分析」①到達(リーチ)動作の観察 【キーワード】運動制御・各関節の役割・姿勢	市村(紋)	基礎運動学 PP241-243 配布資料	講堂
第30回 12月6日	「観察による上肢の動作分析」②把持動作の観察 【キーワード】把握パターン・知覚・リーチと把持の協調	市村(紋)	基礎運動学 PP241-243 配布資料	講堂
定期試験				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	運動生理学実習	1	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科1年 作業療法学科1年	赤岩龍士 青山勝二 (外部講師)	運動学・生理学			
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	運動が人体に与える変化や影響について実習を通し理解を深める。				
行動目標 (SBO)	以下の分野について、必要な知識を整理・習得する。 1. 体力の定義を理解する。 2. 体力測定を実施し、その結果から得られる情報を整理する。 3. さまざまな体力の視点を踏まえ、運動処方を作成し、集団に対する指導を経験する。				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>運動生理学(Exercise Physiology)とは、「運動に関わる生理学」です。本講義における運動とは、身体活動(physical activity)であり、運動生理学は「運動と身体の相互に生じる効果や影響を研究する学問」といえます。そして、運動の効果や影響には望ましいものとそうでないものがあり、「健康」の概念から運動生理学を学んで欲しいと思います。体力テストを行い、その結果を踏まえた運動処方の考案、指導ができることを最終目標としています。また、集団に対する運動指導もOT・PTに求められる技能といえます。処方を受ける側からの視点や印象も大切なので、元氣よく楽しくできるよう各自工夫をしてください。</p>					
教科書・参考書					
<p>教科書:オリジナル資料集 参考書:基礎運動学第6版(医歯薬出版)</p>					
受講時留意点、その他					
<p>実技の授業では、部分的に運動強度が高い場合がありますので、普段から健康管理を行うとともに、体調がすぐれない場合は無理をしないよう心がけてください。また、運動ができる服装、室内用運動靴、タオルを用意してください。 第8回、第10回、第12回は、クラス毎に実施順が異なりますので、日程が違う場合があります。 第10回、12回は外部講師の青山先生が行いますが、10月28日、11月11日、25日の3日間で2回受講することになります。 第9回、第11回、第13回は、グループごとで実習を行うので、実施順序が異なります。 変則的な予定なので、間違えないよう注意して下さい。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	0				
小テスト	0				
レポート	50	グループごとに作成した運動処方を第15回終了時に提出			
実技試験	0				
プレゼンテーション	50	第15回で実施する運動処方での発表状況、参加状況			
その他	*	授業に対する迷惑行為、正当でない理由での遅刻・欠席、無礼な受講態度 などは減点の対象とする場合があります。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 8月26日	<u>コースオリエンテーション</u> 運動生理学概論・筋生理学	赤岩	資料集	講堂
第2回 9月2日	<u>体力とは</u> 「体力」の定義について学ぶ。 【キーワード】体力要素・行動体力・防衛体力	赤岩	資料集	講堂
第3回 9月9日	<u>体力測定</u> 体力測定の目的、方法についてを学ぶ。 【キーワード】新体力テスト・身体機能評価・身体組成	赤岩	資料集	講堂
第4回 9月16日	<u>身体機能評価実習①</u> 文部科学省新体力テスト、スポーツテスト、を実施する。 【キーワード】瞬発力・柔軟性・バランス	赤岩	資料集	講堂
第5回 9月23日	<u>身体機能評価実習②</u> 文部科学省新体力テスト、スポーツテストを実施する。 【キーワード】全身持久力・敏捷性・最大酸素摂取量	赤岩	資料集	講堂
第6回 10月7日	<u>身体機能評価実習③</u> 文部科学省新体力テスト、スポーツテストを実施する。 【キーワード】全身持久力・敏捷性・最大酸素摂取量	赤岩	資料集	講堂
第7回 10月14日	<u>体力測定のまとめ</u> 文部科学省新体力テストの結果を分析する。 【キーワード】最大酸素摂取量・体力年齢・目標心拍数	赤岩	資料集	講堂
第8回 10月28日	<u>柔軟性について</u> 柔軟性について学ぶ。 【キーワード】ストレッチング・I b抑制・相反神経抑制	赤岩 青山 (外部講師)	資料集	講堂 機能訓練室
第9回 11月4日	<u>筋力と持久力について①</u> アイソフォース、トレッドミル、エルゴメトリーを用いた測定法。 【キーワード】WBI、VO2max、PWC170	赤岩	資料集	機能訓練室
第10回 11月11日	<u>有酸素運動について①</u> エアロビック運動を体験する。 【キーワード】集団運動・有酸素運動	青山 (外部講師)	資料集	講堂
第11回 11月18日	<u>筋力と持久力について②</u> アイソフォース、トレッドミル、エルゴメトリーを用いた測定法。 【キーワード】WBI、VO2max、PWC170	赤岩	資料集	機能訓練室
第12回 11月25日	<u>有酸素運動について②</u> 集団への運動指導について学ぶ。 【キーワード】集団運動指導・リスク管理・プログラム立案	青山 (外部講師)	資料集	講堂
第13回 12月2日	<u>筋力と持久力について③</u> アイソフォース、トレッドミル、エルゴメトリーを用いた測定法。 【キーワード】WBI、VO2max、PWC170	赤岩	資料集	機能訓練室
第14回 12月8日	<u>運動処方</u> 集団に対する運動処方を考案・作成する。 【キーワード】運動処方・集団指導案作成	赤岩	資料集	講堂
第15回 12月15日	<u>集団に対する運動処方と運動指導</u> 集団に対する運動処方を行い、指導する。 【キーワード】運動処方・集団指導実践	赤岩	資料集	講堂

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	人間発達学	2	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療法学科1年	中村 直人	心理学、臨床心理学			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	人間の生涯にわたる変化を心の発達を中心に学ぶ。				
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生涯発達の考え方と発達理論について理解する。 2. 出生から死までのライフサイクルの中で、それぞれの時期の問題点について理解する。 3. 主な心理機能(知覚、学習、記憶、情緒など)毎の発達について理解する。 				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>私たちの身体と心は、誕生から死まで、絶えず変化しています。その間に、私たちは驚くほど沢山のことを経験し成長します。したがって、ある意味で人間は生涯を通して発達していると言え、この考え方は現在の主流となっています。このような、人生を通して経験する身体と心の変化(生涯発達)の特徴について学びます。</p> <p>前期の心理学と同様に、様々な分野に分散して国家試験に出題されます。しっかり取り組んで下さい。</p>					
教科書・参考書					
教科書は使用せず、プリントを配布します。					
受講時留意点、その他					
時間変更等の連絡はデスクネット(本校で使用されているポータルサイト)のみで行います。一日に数度はチェックするよう心がけて下さい。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	後期末試験を行います。100点満点の60点以上を合格とします。			
小テスト	*	二回の小テストを行います。定期試験に沿った出題をしますので、評価には含めませんが真面目に受けて下さい。不真面目な答案は減点の対象となる場合があります。			
レポート	0				
実技試験	0				
プレゼンテーション	0				
その他	*	質問等の積極的な姿勢は加点の対象とする場合があります。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 8月26日	人間発達とは何か(人間発達の考え方とその研究方法について学ぶ) KW:ライフサイクル、生涯発達	中村	プリント	104
第2回 9月2日	発達理論(PiagetとEriksonの発達理論について学ぶ) KW:中心化、保存、発達課題、危機	中村	プリント	104
第3回 9月9日	出生と乳児期(胎児期・新生児期の注意点と発達の評価法について学ぶ) KW:TORCH症候群、在胎週数評価、新生児行動評価	中村	プリント	104
第4回 9月16日	乳児期・幼児前期Ⅰ(自他の概念の獲得に関係するこの時期特有の行動について学ぶ) KW:アタッチメント、ストレンジ・シチュエーション、移行	中村	プリント	104
第5回 9月23日	乳児期・幼児前期(乳幼児発達の神経科学的知見についてビデオにて学ぶ)	中村	プリント	104
第6回 10月7日	幼児後期(様々な認知機能が大きく変化するこの時期特有の行動・思考について学ぶ) KW:自己中心性、頭足人、遊び	中村	プリント	104
第7回 10月14日	学童期(集団生活の中で必要な社会的側面と学校の役割について学ぶ) KW:感情調節、友人関係、道徳性、学校教育	中村	プリント	104
第8回 10月28日	第一回小テスト(人間発達とは何か、発達理論、出生と乳児期～学童期) 1～7回までの内容の確認と解説を行う	中村		104
第9回 11月4日	青年期(自我を確立し、社会へ出て行く準備を行うこの時期特有の問題について学ぶ) KW:自我同一性、モラトリアム	中村	プリント	104
第10回 11月11日	中年期(比較的安定した時期と考えられてきたこの時期が様々な問題を抱えていることを学ぶ) KW:中年の危機、中年期のライフイベント	中村	プリント	104
第11回 11月18日	老年期Ⅰ(加齢により様々な能力が低下するといわれるが、必ずしもそうでないことを学ぶ) KW:結晶性知能、流動性知能、終末低下説、知恵と熟練	中村	プリント	104
第12回 11月25日	老年期Ⅱ(人生の末期を迎え、幸福感と死の受容について学ぶ) KW:生活満足度尺度、PGGモラル尺度、死の受容、ターミナルケア	中村	プリント	104
第13回 12月2日	感覚・知覚・記憶の発達(感覚・知覚・記憶に絞って心理現象の発達について学ぶ)	中村	プリント	講堂
第14回 12月8日	情緒・動機づけの発達(情緒・動機づけに絞って心理現象の発達について学ぶ)	中村	プリント	104
第15回 12月15日	第二回小テスト(青年期～老年期、感覚・知覚・記憶・情緒・動機づけの発達) 9～14回までの内容の確認と解説を行う	中村		104
定期試験	後期末試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	病理学	2	60	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科1年 作業療法学科1年	遠藤 雄三(非常勤)	生理学、内科学Ⅰ、内科学Ⅱ 等			
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	病理形態学の基本となる問題点を理解する				
行動目標 (SBO)	腫瘍、免疫、炎症、アレルギー 等				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>現代の病理学は病理形態学である。疾病を「かたち」として理解する学問分野であり、それを臨床に応用することで疾病の理解と治療に資する。すなわち病理形態学は疾病を肉眼的ならびに主として光学顕微鏡的に観察した事実を総括的に理解する実学である。そのためには実験的研究の情報も必須とする。病理形態学にかかわる医学的な情報は過去約150年の蓄積である。それらのすべてを60時間の講義でおこなうことは実際的に不可能であり、講義であつかう主題はおのずから限られたものにならざるをえない。したがって私は病理形態学の基本となる問題点を重点的に講義し、講義中に納得していただき、自学自習できることを目的とする。</p>					
教科書・参考書					
<p>1)大橋健一他/著:系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 第5版. 医学書院 2)堺 章/著:目で見るとからだのメカニズム 改訂版. 医学書院 ほか 配布資料有り。解剖生理学の教科書は必携。</p>					
受講時留意点、その他					
<p>後期、毎週月曜日の1, 2限に開講する。講義時間内の退出は原則的に禁止。 教科書を中心に講義をおこなうが、目次順にはおこなわない。各主題にあった資料を配布する。生理学を復習しながら病気と病態(疾病)について説明する。 復習は必須である。講義には積極的に参加してください。質問歓迎。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	定期試験(後期末試験)を行う。			
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 8月29日	生理学から病理学へ。細胞病理学。細胞と組織の染色法と光学顕微鏡。①	遠藤		講堂
第2回 8月29日	生理学から病理学へ。細胞病理学。細胞と組織の染色法と光学顕微鏡。①	遠藤		講堂
第3回 9月5日	腫瘍論(がんとは何か)。細胞の増殖と分化。①	遠藤		講堂
第4回 9月5日	腫瘍論(がんとは何か)。細胞の増殖と分化。②	遠藤		講堂
第5回 9月12日	発がん要因。がん治療。がん予防。①	遠藤		講堂
第6回 9月12日	発がん要因。がん治療。がん予防。②	遠藤		講堂
第7回 9月26日	免疫ホメオスタシスと過剰免疫反応としてのアレルギー各型。①	遠藤		講堂
第8回 9月26日	免疫ホメオスタシスと過剰免疫反応としてのアレルギー各型。①	遠藤		講堂
第9回 10月3日	外からの炎症:感染。内なる炎症:アレルギー。免疫担当細胞。①	遠藤		講堂
第10回 10月3日	外からの炎症:感染。内なる炎症:アレルギー。免疫担当細胞。②	遠藤		講堂
第11回 10月17日	アレルギー(過剰な免疫反応)。自己免疫疾患。臓器移植。骨髄移植。輸血。①	遠藤		講堂
第12回 10月17日	アレルギー(過剰な免疫反応)。自己免疫疾患。臓器移植。骨髄移植。輸血。②	遠藤		講堂
第13回 10月24日	循環障害:心血管系。心筋梗塞。狭心症。高血圧症。①	遠藤		講堂
第14回 10月24日	循環障害:心血管系。心筋梗塞。狭心症。高血圧症。②	遠藤		講堂
第15回 10月31日	循環障害:動脈硬化症。腎疾患。①	遠藤		講堂

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第16回 10月31日	循環障害:動脈硬化症。腎疾患。②	遠藤		講堂
第17回 11月7日	内分泌代謝疾患として高血圧症。生活習慣病としての糖尿病。①	遠藤		講堂
第18回 11月7日	内分泌代謝疾患として高血圧症。生活習慣病としての糖尿病。②	遠藤		講堂
第19回 11月14日	内分泌代謝疾患としての高脂血症。メタボリック症候群。①	遠藤		講堂
第20回 11月14日	内分泌代謝疾患としての高脂血症。メタボリック症候群。②	遠藤		講堂
第21回 11月21日	各論としての肝硬変症。肝機能障害としての黄疸。門脈圧亢進症。① * 祝日授業	遠藤		講堂
第22回 11月21日	各論としての肝硬変症。肝機能障害としての黄疸。門脈圧亢進症。② * 祝日授業	遠藤		講堂
第23回 11月28日	各論としての慢性腎不全。カルシウム代謝障害。① * 祝日授業	遠藤		講堂
第24回 11月28日	各論としての慢性腎不全。カルシウム代謝障害。② * 祝日授業	遠藤		講堂
第25回 12月5日	運動器疾患(骨代謝障害)。関節リウマチとアミロイドーシス。多発性骨髄腫。①	遠藤		講堂
第26回 12月5日	運動器疾患(骨代謝障害)。関節リウマチとアミロイドーシス。多発性骨髄腫。②	遠藤		講堂
第27回 12月12日	運動器疾患(関節、骨格筋)。運動神経疾患。加齢現象と老化。①	遠藤		講堂
第28回 12月12日	運動器疾患(関節、骨格筋)。運動神経疾患。加齢現象と老化。②	遠藤		講堂
第29回 12月19日	先天異常。減数分裂。染色体異常。メンデルの法則。心奇形と慢性の肺うっ血。①	遠藤		講堂
第30回 12月19日	先天異常。減数分裂。染色体異常。メンデルの法則。心奇形と慢性の肺うっ血。②	遠藤		講堂
定期試験 未定	後期末試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	臨床心理学	1	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科1年 作業療法学科1年	鷺山 英之(非常勤)	心理学 ほか			
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	臨床心理学の概要を理解し、臨床心理学的視点を身につける。				
行動目標 (SBO)	クライアント理解の基本的視点、援助のための理論や具体的方法				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
クライアント理解の基本的視点を獲得し、援助のための理論や具体的方法を身につけていただきたい。授業内では、ワークなどを積極的に取り入れていく予定であるので、受講生の皆さんの積極的な参加を希望する。					
教科書・参考書					
森谷寛之・赤塚大樹・岸良範・増井武士 / 共著：医療・看護系のための心理学. 培風館.					
受講時留意点、その他					
後期、水曜1・2時限に開講します。教科書、配布資料を基にした講義とワークを行います。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験					
小テスト					
レポート	100	レポート課題を採点します。			
実技試験					
プレゼンテーション					
その他	*	出席状況、参加の仕方、試験を行った場合にはその成績なども考慮します。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 9月7日	臨床心理学とは	鷺山		講堂
第2回 9月7日	臨床心理学の理論的背景(1)	鷺山		講堂
第3回 9月21日	臨床心理学の理論的背景(2)	鷺山		講堂
第4回 9月21日	臨床心理学の理論的背景(3)	鷺山		講堂
第5回 10月5日	心理アセスメント (1)行動観察法、面接	鷺山		講堂
第6回 10月5日	心理アセスメント (2)質問紙法	鷺山		講堂
第7回 10月19日	心理アセスメント (3)投影法	鷺山		講堂
第8回 10月19日	心理アセスメント (4)知能検査、発達検査	鷺山		講堂
第9回 11月9日	心理療法 (1)	鷺山		講堂
第10回 11月9日	心理療法 (2)	鷺山		講堂
第11回 11月30日	心理療法 (3)	鷺山		講堂
第12回 11月30日	心理療法 (4)	鷺山		講堂
第13回 12月7日	心理臨床的問題 (1)	鷺山		講堂
第14回 12月7日	心理臨床的問題 (2)	鷺山		講堂
第15回 12月14日	総括 <u>※1時限目のみ(9:00~10:30)</u>	鷺山		講堂
定期試験	(*実施しない)			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	内科学 I	1	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科1年 作業療法学科1年	青木 秀剛(非常勤) 金井 玉奈(非常勤)	解剖学Ⅱ、生理学、病理学			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	内科疾患の理解				
行動目標 (SBO)	消化器疾患・循環器疾患・呼吸器疾患				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
医学の中心的学問である。内科学における症候学、診断、治療を理解するとともに、リハビリテーションとの関連性を理解する。内科学講義 I では、特に教科書の第1章～第7章までの内科学概論と症候学・循環器・呼吸器疾患・消化器疾患・肝胆膵疾患について学ぶ。					
教科書・参考書					
前田 眞治／著 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学 第3版 医学書院					
受講時留意点、その他					
後期に開講します。 青木:木曜日3時限目(13:00～14:30) 金井:木曜日2時限目(10:40～12:10)・第11～14回は金曜日3・4時限(13:00～16:10)					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	後期末試験を行う。			
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 9月8日	消化管疾患 1	青木		講堂
第2回 10月6日	消化管疾患 2	青木		講堂
第3回 10月20日	消化管疾患 3+補足	青木		講堂
第4回 11月17日	肝胆膵疾患 1	青木		講堂
第5回 12月1日	肝胆膵疾患 2+補足	青木		講堂
第6回 9月1日	呼吸器疾患 1	金井		講堂
第7回 9月15日	呼吸器疾患 2	金井		講堂
第8回 10月6日	呼吸器疾患 3	金井		講堂
第9回 10月20日	呼吸器疾患 4	金井		講堂
第10回 11月10日	循環器疾患 1	金井		講堂
第11回 12月9日	循環器疾患 2	金井		講堂
第12回 12月9日	循環器疾患 3	金井		講堂
第13回 12月16日	循環器疾患 4	金井		講堂
第14回 12月16日	循環器疾患 5	金井		講堂
第15回 未定	内科疾患とリハビリテーション	*専任教員 (予定)		講堂
定期試験 未定	後期末試験			講堂

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	整形外科学 I	1	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科1年 作業療法学科1年	吉見 秀一(非常勤)	解剖学 I、解剖学実習、運動学、整形外科学 II ほか			
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	外傷性疾患を中心に、整形外科の検査、治療法等を理解する。				
行動目標 (SBO)	骨折、関節の外傷、末梢神経損傷、靭帯損傷 など				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
整形外科の概論を理解するとともに、検査(画像含む)、治療法(保存的、手術、薬物)等の概略を学習する。また、疾患ごとの各論を学び、臨床に即した知識の整理をする。					
教科書・参考書					
立野勝彦/著:標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 整形外科学 第3版. 医学書院.					
受講時留意点、その他					
後期。木曜3・4時限に開講します。(※13:30~16:40) この授業は、3時限目の開始時間が13:30となっています。注意して下さい。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	後期末試験を行う。			
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 9月1日	骨折	吉見		講堂
第2回 9月1日	骨折	吉見		講堂
第3回 9月15日	関節における外傷性疾患	吉見		講堂
第4回 9月15日	関節における外傷性疾患	吉見		講堂
第5回 9月29日	関節における外傷性疾患	吉見		講堂
第6回 9月29日	末梢神経における外傷性疾患	吉見		講堂
第7回 10月13日	末梢神経における外傷性疾患	吉見		講堂
第8回 10月13日	末梢神経における外傷性疾患	吉見		講堂
第9回 10月27日	腱・靭帯における外傷性疾患	吉見		講堂
第10回 10月27日	腱・靭帯における外傷性疾患	吉見		講堂
第11回 11月10日	腱・靭帯における外傷性疾患	吉見		講堂
第12回 11月10日	スポーツ障害	吉見		講堂
第13回 11月24日	熱傷	吉見		講堂
第14回 11月24日	熱傷	吉見		講堂
第15回 12月8日	まとめ ※4時限目のみ(14:40~16:10)	吉見		講堂
定期試験 未定				講堂

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	精神医学 I	1	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科1年 作業療法学科1年	望月 美和(非常勤)	精神医学 II ほか			
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	精神医学における症候学、診断、治療を理解する。				
行動目標 (SBO)	脳器質性精神障害、統合失調症 ほか				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
精神医学における症候学、診断、治療を理解し、理学療法・作業療法との関連性の理解を深める。特に教科書の第1章～第9章までを学ぶ。					
教科書・参考書					
上野武治／編:標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 精神医学 第3版. 医学書院					
受講時留意点、その他					
前期、木曜日1・2時限目に開講します。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	前期末試験を行う。			
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月7日	第1章 精神医学とは 第2章 精神障害の成因と分類	望月		講堂
第2回 4月7日	第3章 精神機能の障害と精神症状 第4章 精神障害の診断と評価	望月		講堂
第3回 4月14日	第5章 脳器質性精神障害	望月		講堂
第4回 4月14日	第5章 脳器質性精神障害	望月		講堂
第5回 4月28日	第5章 脳器質性精神障害	望月		講堂
第6回 4月28日	第5章 脳器質性精神障害	望月		講堂
第7回 5月12日	第6章 症候性精神障害	望月		講堂
第8回 5月12日	第7章 精神作用物質による精神及び行動の障害	望月		講堂
第9回 5月26日	第7章 精神作用物質による精神及び行動の障害	望月		講堂
第10回 5月26日	第8章 てんかん	望月		講堂
第11回 6月9日	第9章 統合失調症およびその関連障害	望月		講堂
第12回 6月9日	第9章 統合失調症およびその関連障害	望月		講堂
第13回 6月23日	第9章 統合失調症およびその関連障害	望月		講堂
第14回 6月23日	第9章 統合失調症およびその関連障害	望月		講堂
第15回 7月7日	第9章 国家試験問題について *3時限目	望月		講堂
定期試験 未定				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	精神医学Ⅱ	1	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科1年 作業療法学科1年	金井 玉奈(非常勤)	精神医学Ⅰ ほか			
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	精神医学における症候学、診断、治療を理解する。				
行動目標 (SBO)	気分障害、神経症性障害 ほか				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
精神医学における症候学、診断、治療を理解するとともにPT、OTとの関連性を理解する。 精神医学Ⅱでは、特に教科書の第10章～第21章までを学ぶ。					
教科書・参考書					
上野武治／編:標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 精神医学 第4版. 医学書院.					
受講時留意点、その他					
後期:おおよそ隔週水曜日3・4時限(13:00～16:10)に開講します。第15回は4時限のみ。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	後期末試験を行う。			
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 8月31日	第10章 気分(感情)障害	金井		講堂
第2回 8月31日	第10章 気分(感情)障害	金井		講堂
第3回 9月21日	第11章 神経症性障害	金井		講堂
第4回 9月21日	第11章 神経症性障害	金井		講堂
第5回 10月5日	第12章 生理学的障害及び身体的要因に関連した障害	金井		講堂
第6回 10月12日	第13章 成人の人格・行動・性の障害	金井		講堂
第7回 10月12日	第14章 精神遅滞	金井		講堂
第8回 10月26日	第15章 心理的発達の障害	金井		講堂
第9回 10月26日	第16章 リエゾン精神医学	金井		講堂
第10回 11月9日	第17章 心身医学	金井		講堂
第11回 11月9日	第18章 ライフサイクルにおける精神医学	金井		講堂
第12回 11月30日	第19章 精神障害の治療とリハビリテーション	金井		講堂
第13回 11月30日	第19章 精神障害の治療とリハビリテーション	金井		講堂
第14回 12月7日	第20章 精神科保健医療と福祉、職業リハビリテーション	金井		講堂
第15回 12月7日	第21章 社会・文化とメンタルヘルス *4時限のみ	金井		講堂
定期試験 未定				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	脳神経外科学	1	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科1年 作業療法学科1年	齋藤 勇 (非常勤) 井上 聖啓(非常勤)	解剖学Ⅱ、生理学、神経内科学 ほか			
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	脳外科学における症候学、診断、治療を理解する。				
行動目標 (SBO)	脳腫瘍、頭部外傷、脳血管障害 ほか				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
神経系の解剖・生理に関する正常の形態と機能を理解する。神経系の腫瘍・血管障害・外傷・機能的疾患・奇形などの主要疾患について、その病態と治療法を理解する。脳外科学における症候学、診断、治療を理解するとともにPT、OTとの関連性を理解する。					
教科書・参考書					
児玉南海雄／監修、佐々木富男他／編集:標準脳神経外科学 第13版。 医学書院。					
受講時留意点、その他					
後期に開講します。 齋藤:後期(水曜3, 4時限) 井上:後期(不定1, 2時限)					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	後期末試験を行う。			
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 9月14日	3時限目 脳神経外科総論Ⅰ 脳の解剖と機能(1)	齋藤		講堂
第2回 9月14日	4時限目 脳神経外科総論Ⅲ 補助診断法 ー画像診断を中心にー	齋藤		講堂
第3回 9月28日	1時限目 脳神経外科総論Ⅱ 神経学的診断	井上		講堂
第4回 9月28日	2時限目 脳神経外科総論Ⅶ 脊髄の解剖と機能+自律神経	井上		講堂
第5回 9月29日	1時限目 脊髄・脊椎疾患	井上		講堂
第6回 9月29日	2時限目 先天奇形、水頭症、髄液、脳動脈などパーキンソンなど神経内科的疾患	井上		講堂
第7回 10月19日	3時限目 脳神経外科総論Ⅳ 脳特有の症状と病態	齋藤		講堂
第8回 10月19日	4時限目 脳神経外科総論Ⅴ 脳の解剖と機能(2)	齋藤		講堂
第9回 10月21日	1時限目 脳神経外科総論Ⅵ 「脳神経」の解剖と機能	齋藤		講堂
第10回 10月21日	2時限目 脳腫瘍	齋藤		講堂
第11回 11月16日	3時限目 頭部外傷	齋藤		講堂
第12回 11月16日	4時限目 脳血管障害Ⅰ	齋藤		講堂
第13回 12月14日	3時限目 脳血管障害Ⅱ	齋藤		講堂
第14回 12月15日	4時限目 まとめⅠ	齋藤		講堂
第15回 未定	まとめⅡ ※専任教員でおこなう。			講堂
定期試験 未定	後期末試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	リハビリテーション概論	2	30	必修	
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療法学科1年	菊池和也	リハビリテーションの基礎になる重要な科目である			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標（GIO）	現代の医療・福祉分野におけるリハビリテーションを理解する				
行動目標（SBO）	1. 医療関連職種の基本を身につける テーションの語源・歴史・定義がわかる め方がわかる 理過程がわかる 2. リハビリ 3. 障害分類を理解す 4. リハビリテーションの領域、進 5. 障害受容の心 6. 関連法規・倫理がわかる				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
この授業はリハビリテーションの基礎となる概念、考え方、障害などを学習する科目である。重要な科目であるので集中して授業に参加すること。また、講義に加えてグループワーク、演習、討論、プレゼンテーションなども実施することがある。積極的に意見など述べる。自分の意見を述べる、人の意見を聞くことは理学療法士、作業療法士など医療職には不可欠なことであるので積極的な参加を望む。					
教科書・参考書					
教科書:①医学生・コメディカルのための手引書 リハビリテーション概論 改訂第3版（永井書店）、②国際生活機能分類 国際障害分類改訂版一（中央法規） 参考書:入門リハビリテーション概論第7版(医歯薬出版)、ICFコアセット 臨床実践のためのマニュアル(医歯薬出版)					
受講時留意点、その他					
携帯電話の電源は切ること。授業中の居眠り、不要な私語は厳重に注意する。この授業は医療の現場で勤務していることを想定して行う。したがって授業に集中しないことは業務に集中できないことと同様である。この授業で集中することをしっかり練習すること。教科書、配布資料は必ず読むこと。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	前期期末試験を実施する。合格基準は60%以上とする。			
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他					
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月8日	信頼される医療職 医療専門職種の基本 キーワード:ルールとマナー、不快感と好感、接遇			資料配布
第2回 4月28日	リハビリテーションの概念・理念・定義1 リハ リハビリテーションの語源と現代リハビリテーションの定義 キーワード:語源、リハビリテーションの発展、定義		①p1～7、 15～17	
第3回 5月6日	リハビリテーションの概念・理念・定義2 自立生活運動 ド:起源、基本的考え、リハビリテーションパラダイム、指導理念	キーワー	①p7～9	
第4回 5月13日	リハビリテーションの概念・歴史・定義3 ノーマ ライゼーション キーワード:ノーマライゼーションの背景、8原則、世界的広まり		①p9～13	
第5回 5月20日	障害分類1 障害の概念 ド:国際障害分類、機能障害、能力低下、社会的不利	健康と キーワー	①p19～23	
第6回 5月27日	障害分類2 活機能分類(ICF)1 ICFの背景、健康領域・健康関連領域、構成要素	国際生 キーワー:	①p23～ 26、②3～ 10	
第7回 6月2日	障害分類3 活機能分類(ICF)2 キーワード:構成要素の定義、相互作用	国際生	①p23～ 26、②11～ 23	
第8回 6月3日	障害分類4 活機能分類(ICF)3 評価分類、コード化、事例応用	国際生 キーワー:	①p23～ 26、②p27 以降	
第9回 6月10日	障害心理と障害受容 受容の心理的過程 ド:精神的問題、障害、心理的適応過程	障害 キーワー	①p37～50	
第10回 6月17日	リハビリテーションの過程 リハビ リテーションの過程 ド:評価、ゴール設定、プログラム	キーワー	①p69～80	
第11回 6月24日	リハビリテーションの諸段階 リハビリテーションの諸段階、領域 ド:医学的、社会的、教育的、職業的リハビリテーション	キーワー	①p81～98	
第12回 7月1日	医療とリハビリテーション専門職 医療職 種の諸問題、リハビリテーション専門職種 キーワード:インフォームド・コンセント、インシデント、個人情報、専門職		①p99～115	
第13回 7月8日	チームアプローチ チーム医療、評価会議、ゴール設定 キーワード:チーム医療、評価会議、ゴール設定		①p117～ 128	
第14回 7月15日	地域リハビリテーション 地域リハビリテーション ド:定義、社会資源	キーワー	①p155～ 169	
第15回 7月22日	関連法規と倫理規定 理学 療法士・作業療法士の関連法規 キーワード:理学療法士・作業療法士法、医療法、医療保険・介護保険、倫理規定		①p189～ 225	資料配布
試験	定期試験を実施する。			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	社会福祉概論	2	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療法学科1年	中原 留美子・大庭 俊裕	リハビリテーション概論			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	障害者の生活を支援する制度を理解し、社会的リハビリテーションのあり方を学ぶ。				
行動目標 (SBO)	1. 社会保障制度の背景を説明できる。 2. 社会保障制度の種類と仕組みを説明できる。 3. 障害者が生活するうえで、どのようなことが困り、それに対する制度がどのようなになっているかを説明できる。				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>社会保障制度はその内容が年単位で変更があり、卒業時には制度自体変更されている可能性がある。なぜ社会保障は変更があり、どのように成り立っているかを理解する必要がある。また、制度そのものが作られていく過程の中で、当事者がどのように関与しているのか、今後当事者の生活を支援する職種として、制度の必要性などを共感できるPT・OTになっていくことが重要である。授業は各回ごとに授業目標を提示し、その内容を講義する。学習は授業目標に沿っておこなっていただきたい。</p>					
教科書・参考書					
社会福祉サービスの基礎知識:三浦文夫編著 自由国民社					
受講時留意点、その他					
<p>障害者の立場からみた生活の大変さをできる限り共感し、社会における責任である社会保障制度の仕組みを理解してもらいたい。当事者や当事者を支える専門家などが出演したDVDを鑑賞することが多い。睡魔との戦いがあるかと思われるが、講義よりも映像による共感の方が教育的効果が高いと考えているため、是非有効な時間にしてもらいたい。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	第1～15回の授業内容が範囲となる。授業目標に沿って復習すること。			
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他		受講態度が悪く、3回以上指導されても修正されない場合は、減点することがある。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 8月26日	コースオリエンテーション・社会保障とは この講義の目的、目標、スケジュールなどを確認、理解する。 【キーワード】社会保障・憲法・リハビリテーション	中原		108
第2回 9月2日	ライフサイクルと社会保障制度 自分のライフサイクルを通して、障害者自身・家族が困ることを想像する。 【キーワード】社会生活におけるニーズ・障害者や家族のニーズ	中原		108
第3回 9月9日	社会保障制度に影響を与える要因 4つの要因から社会保障制度との関連性を理解する 【キーワード】少子高齢化・世帯数・経済成長・多様化	中原		108
第4回 9月16日	社会保険制度 社会保険のしくみとPT・OTの診療報酬について理解する 【キーワード】社会保険制度の種類・しくみ・診療報酬	中原		108
第5回 9月23日	障害者に対する制度 障害者人権条約・障害者差別禁止法について理解する 【キーワード】人権・障害観・障害者権利条約・障害者差別禁止法	中原		108
第6回 10月7日	障害者に対する制度 障害者基本法と権利擁護・障害者総合支援法について理解する 【キーワード】障害者基本法・障害者権利擁護・障害者総合支援法	中原		108
第7回 10月14日	身体障害者に対する制度 身体障害者手帳の内容と申請手続き、身体障害者に対する経済的支援について理解する。 【キーワード】身障手帳・申請手続き・経済的支援	中原		108
第8回 10月28日	身体障害者に対する制度 身体障害者に対する補装具や日常生活用具の支給についての手続きや内容について理解する。 【キーワード】補装具・日常生活用具・申請手続き	中原		108
第9回 11月4日	高齢者に対する制度 高齢者に対する制度の歴史と高齢者全般に対する制度について理解する。 【キーワード】老人福祉法・高齢者居住法・高齢者医療確保法	中原		108
第10回 11月11日	高齢者に対する制度 要介護高齢者に対する制度について理解する。 【キーワード】介護保険・介護度・介護保険サービス	中原		108
第11回 11月18日	高齢者に対する制度 要介護高齢者に対する制度について理解する。 【キーワード】介護保険・介護度・介護保険サービス	中原		108
第12回 11月25日	精神障害者に対する制度 精神障害者の歴史とそれに対する制度について理解する。 【キーワード】精神障害・歴史・制度	大庭		108
第13回 12月2日	精神障害者に対する制度 精神障害者の歴史とそれに対する制度について理解する。 【キーワード】精神障害・歴史・制度	大庭		108
第14回 12月8日	子どもに対する制度 子ども全般に対する制度について理解する。 【キーワード】児童福祉法・少子化対策・医療費助成・こども園	中原		108
第15回 12月15日	子どもに対する制度 障害のある子どもに対する制度について理解する。 【キーワード】療育手帳・発達障害支援法・特別支援制度	中原		108
定期試験	第1～15回の範囲すべてが対象となります。各回の授業目標に沿って復習しておいてください。			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	作業療法概論	4	60	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療法学科・1年	中原留美子・大庭俊裕・植田伊津子	基礎作業学・基礎作業学実習・作業療法評価学			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	作業療法の定義・歴史・位置づけ・作業の力・各領域の作業療法について理解する。				
行動目標 (SBO)	1. 作業療法の定義と歴史、医療ならびに社会全体における作業療法の位置づけ、基本的な作業療法の方法について理解する(前期)。 2. 作業療法のオリエンテーションができる(前期)。 3. 事例を通して作業療法の流れを具体的に理解する(後期)。				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
前期は、作業療法とはどういうものかを、さまざまな視点から学び、対象者に作業療法のオリエンテーションができることを目標とします。授業内においても、医療人としての姿勢を意識し、チームで対象者の援助にかかわる際に必要な積極性や協調性を養うことを目的に、グループワークによる建設的な意見交換をおこないます。また、グループワークをおこなう際には、テーマを当日提示しますが、前もって指定された箇所の教科書を熟読し授業に臨んでください。 後期は、作業療法の流れを、各領域の作業療法について、領域の特性や作業療法の内容などを踏まえて学びます。また、作業療法におけるリスク管理についても学びます。後期ではより作業療法の具体的なイメージができるように各領域専門の教員から講義いたします。					
教科書・参考書					
岩崎テル子／編 標準作業療法学 作業療法学概論 第2版 医学書院					
受講時留意点、その他					
前期は前もって教科書を熟読して臨んでいただきたい。教科書から感じたこと、疑問に思ったことがあれば授業内で質問してください。他の学生も疑問に思っているかもしれません。教科書でわからない言葉があれば、辞書等で調べて、意味を理解できるようにしてください。専門用語を正しく使えるようになるためには、教科書の表現を真似て使用できるようになることがまず1歩となります。口語体は使用せず、文語体で表現できるように努力しましょう。医療人として健康管理は必須です。体調不良による欠席がないよう、健康管理には気を付けてください。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	前期および後期の定期試験結果から、総合的に判断いたします。前期および後期の定期試験の合計が120点以上を合格の目安とします。知識を確認するための試験ですので、前期または後期の定期試験で60点に満たない場合は、再試験をおこなうことがあります。			
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他		受講態度が非常に悪く、改善が見られない場合は、減点とすることがある。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月5日	<u>コースオリエンテーション</u> この講義の目的、目標、スケジュールなどを確認、理解する。 <u>他己紹介</u> 自分について説明し、聞いた人がその人について紹介する。	中原		
第2回 4月12日	<u>医療人としてどうあるべきか</u> 対人サービスとしてのあるべき姿、専門職としてあるべき姿など自らが受けたい医療人像を話し合い、自分の目指す方向を明確にする。 【キーワード】情緒面・知識技術面・態度や習慣	中原	70-77	
第3回 4月19日	<u>医療人としてどうあるべきか</u> 対人サービスとしてのあるべき姿、専門職としてあるべき姿など自らが受けたい医療人像を話し合い、自分の目指す方向を明確にする。 【キーワード】情緒面・知識技術面・態度や習慣	中原	70-77	
第4回 4月26日	<u>作業療法の定義</u> 作業療法のいくつかの定義を理解する。理学療法との違いを説明できる。 【キーワード】作業療法・理学療法・対象と目的と手段	中原	14-15	
第5回 5月10日	<u>作業と文化の関係</u> 作業療法における作業の定義や種類、作業と文化との関係、作業の力を理解する。 【キーワード】作業・文化・力	中原	10-13	
第6回 5月17日	<u>作業分析の重要性</u> 作業を用いる際に、作業分析力が必要となる。作業分析の種類や方法を理解する。 【キーワード】作業分析・作業遂行分析・動作分析・方法	中原		
第7回 5月24日	<u>作業療法原理・理論</u> 作業療法の原理・理論を理解する。 【キーワード】理論レベル・人間作業モデル・人間-環境-作業モデル	中原	18-25 50-58	
第8回 5月31日	<u>作業療法の範囲とICFに基づく作業療法評価</u> 作業療法の範囲とICFに基づいた作業療法の評価項目について理解する。 【キーワード】範囲・ICF・評価項目	中原	71-73 26-30 139-144 31-36	
第9回 6月7日	<u>作業療法の歴史</u> 作業療法の歴史および日本の歴史について理解し、作業療法をより理解する。 【キーワード】作業と健康・道徳療法・Arts & Crafts Movement	中原	37-50	
第10回 6月14日	<u>対象者中心の作業療法(グループワーク)</u> 対象者中心の考え方を理解する。 【キーワード】client・informed consent・協業	中原	68-77	
第11回 6月21日	<u>チームアプローチ(グループワーク)</u> チームアプローチの必要性とよりよいチームを作るためにはどうすればよいかを理解する。 【キーワード】チームアプローチ・専門性・建設的意見交換	中原	88-99	
第12回 6月28日	<u>EBMと作業療法・作業療法の過程</u> EBMの手順と研究の質、作業療法の過程について理解する。 【キーワード】EBM・批判的吟味・OT研究・クリニカルリーズニング	中原	126-131	
第13回 7月5日	<u>作業療法オリエンテーション(グループワーク)</u> 初回面接における作業療法についてのオリエンテーションを対象者に合わせて説明することができる。 【キーワード】初回面接・作業療法の説明	中原		
第14回 7月12日	<u>作業療法オリエンテーション(発表)</u> 初回面接における作業療法についてのオリエンテーションを対象者に合わせて説明することができる。 【キーワード】初回面接・作業療法の説明	中原		
第15回 7月19日	<u>作業療法オリエンテーション(発表)</u> 初回面接における作業療法についてのオリエンテーションを対象者に合わせて説明することができる。 【キーワード】初回面接・作業療法の説明	中原		
定期試験	前期定期試験期間に試験を実施する。試験内容は前期の範囲とする。			

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第16回 9月7日	前期のまとめと医療倫理 前期の総括・後期のオリエンテーションをおこなう。医療倫理についての演習をおこなう。	中原		108
第17回 9月8日	作業療法の全体的な流れ 作業療法の流れを理解する。 【キーワード】作業療法評価・ゴール設定・作業療法実施・再評価	中原	P126-138	108
第18回 9月14日	事例を通しての理解(対象者理解) 情報から何を考えていくかを理解する 【キーワード】年齢・性別・家族構成・診断名・現病歴等	中原	医学辞典	108
第19回 9月14日	事例を通しての理解(知りたいことと方法) 具体的に知りたいこと・そのための方法等を理解する 【キーワード】作業療法評価(面接・観察・検査測定)	中原		108
第20回 10月5日	事例を通しての理解(ゴール設定) リハビリテーションゴールや作業療法ゴールの設定するときの方法を理解する 【キーワード】長期ゴール・短期ゴール	中原		108
第21回 10月12日	事例を通しての理解(作業療法の実際) 目標に向かってどのような作業療法をおこなうかを理解する 【キーワード】作業療法実施	中原		108
第22回 10月12日	身体障害領域の作業療法 第18～21回と同様の手順で、教科書の事例を理解する 【キーワード】事例理解	中原	P152-162	108
第23回 10月26日	身体障害領域の作業療法 第18～21回と同様の手順で、教科書の事例を理解する 【キーワード】事例理解	中原	P152-162	108
第24回 10月26日	身体障害領域の作業療法 第18～21回と同様の手順で、教科書の事例を理解する 【キーワード】事例理解	中原	P152-162	108
第25回 11月1日	精神障害領域の作業療法 精神障害領域の作業療法の歴史や治療理論等理解する	大庭		108
第26回 11月1日	精神障害領域の作業療法 精神障害領域の作業療法の歴史や治療理論等理解する	大庭		108
第27回 11月16日	発達障害領域の作業療法 発達障害領域の作業療法の歴史や特徴、治療理論等理解する	植田伊		108
第28回 11月16日	発達障害領域の作業療法 発達障害領域の作業療法の歴史や特徴、治療理論等理解する	植田伊		108
第29回 11月24日	リスク管理 医療におけるリスク管理を理解し、遵守する 【キーワード】ハインリッヒの法則・医療安全・個人情報管理・モラル	中原		108
第30回 12月1日	作業療法士“プロフェッショナル”とは 作業療法士として対象者を尊重し、人として向き合う姿勢を学ぶ 【キーワード】作業療法士・対象者中心・人と向き合う	中原		108
定期試験	後期定期試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	基礎作業学	2	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療法学科1年	中原 留美子	作業療法概論・基礎作業学実習・作業療法評価学・解剖学・生理学・運動学			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	作業と作業遂行の分析方法および援助方法を学ぶ				
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業の形・機能・意味について分析できる 2. 基本動作およびADLの工程分析ができる 3. 作業遂行(Performance Skill)の分析ができる 4. 対象者に応じた援助方法を理解し、体験する 				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>この授業は、その人にとっての作業を知るために、作業の形や機能、意味について分析する演習を行います。また、作業のうち、だれもおこなう基本動作およびADLについて、工程分析をおこない、工程の区切り方の演習を行います。作業遂行については、工程ごとに観察し、観察したことをAMPSの項目(motor skillsとprocess skills)を用いて分析する演習を行います。作業療法士は、その人にとって意味のある作業ができるように支援する仕事ですので、対象者が何を思いながら作業をしているのか、どのように援助すれば対象者自身にとってよりよいものになるのかを考えながら、さまざまな援助方法を用います。対象者の状況にあった対応を体験し、よりよい援助について学んでほしい。</p>					
教科書・参考書					
参考書:小林夏子・福田恵美子編:標準作業療法学 基礎作業学 第2版. 医学書院. 2012					
受講時留意点、その他					
<p>演習が多い科目ですので、積極的に参加されることを期待しています。グループで学習を進めていきますので、人任せにしやすい人もまれにいます。ひとりひとりがしっかり理解できるようグループ全員で参加するように進めてください。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	第1～15回の授業目標にそって理解の度合いを試験します。自分が演習したものだけではなく、グループ発表した内容も含めて出題します。			
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他					
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 8月25日	<u>オリエンテーション/作業の形・機能・意味</u> 作業の形・機能・意味について理解する 【キーワード】作業の形・機能・意味	中原		108
第2回 8月25日	<u>作業の形・機能・意味:演習</u> 写真からその人の作業の形・機能・意味について分析する 【キーワード】作業の形・機能・意味	中原		108
第3回 9月1日	<u>基本動作(姿勢・起座動作)</u> 姿勢の専門用語とアライメント・起座動作のパターンを学ぶ 【キーワード】姿勢の名称・アライメント・肢位・起座動作パターン	中原	基礎運動学	治療室・機能 訓練室
第4回 9月8日	<u>基本動作(起居動作)</u> 起居動作のポイントと各動作の工程の特徴を学ぶ 【キーワード】起居動作の工程・支持基底・重心	中原	基礎運動学	治療室・機能 訓練室
第5回 9月15日	<u>移動動作(車いすおよび杖)</u> 車いすの名称や杖の種類、片麻痺患者の移動方法および操作方法を理解する 【キーワード】車いす・杖・片麻痺患者	中原	基礎運動学	OT実習室2・装 具加工室
第6回 10月6日	<u>ADL工程分析</u> ADLを工程ごとに分析し、その特徴を捉える 【キーワード】AMPS・排泄行動・作業分析・工程分析	中原		108
第7回 10月13日	<u>ADL工程分析(演習)</u> ADLを工程ごとに分析し、その特徴を捉える 【キーワード】AMPS・作業分析・工程分析	中原	小道具の準備	108
第8回 10月13日	<u>ADL工程分析(演習)</u> ADLを工程ごとに分析し、その特徴を捉える 【キーワード】AMPS・作業分析・工程分析	中原	小道具の準備	108
第9回 10月20日	<u>ADL工程分析(発表)</u> ADLを工程ごとに分析し、その特徴を捉える 【キーワード】AMPS・作業分析・工程分析	中原	小道具の準備	108
第10回 10月27日	<u>作業遂行分析方法</u> 作業をおこなっている場面を観察し、分析する 【キーワード】AMPS・観察	中原		108
第11回 10月27日	<u>作業遂行分析方法</u> 作業をおこなっている場面を観察し、分析する 【キーワード】AMPS・観察	中原		108
第12回 11月10日	<u>作業遂行分析方法</u> 作業をおこなっている場面を観察し、分析する 【キーワード】AMPS・観察	中原		108
第13回 11月17日	<u>援助方法の実際(演習)</u> パズルをうまく進めるための援助方法について理解する 【キーワード】コーチング・ティーチング・説明方法	中原		OT実習室1
第14回 11月17日	<u>援助方法の実際(演習)</u> 正しい箸の持ち方を援助する 【キーワード】箸の持ち方・動作観察・説明方法	中原		OT実習室1
第15回 11月24日	<u>振り返りとまとめ</u> 第1～14回までの振り返りとまとめ	中原		OT実習室2・装 具加工室
定期試験 12月13日	範囲は第1～15回の内容となります。定期試験期間外で行います。	中原		108

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	基礎作業学実習	2	60	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
1年作業療法学科	大庭 俊裕 ほか	作業療法概論 ・ 基礎作業学 ・ 運動学			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	作業療法における「作業」について学び、理解する				
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習を通して、治療的手段として作業を活用する方法を学習する 2. 作業を治療的に応用するための作業分析を習得する 3. 人にとって作業が持つ意味と役割を理解し、作業療法ではなぜ作業を媒体とするのかを考える 				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>作業療法の治療技法の中核となる「作業」「作業活動」について、その構成や方法、遂行に必要な心身機能を、実際の作業活動を通してとらえる。</p> <p>作業活動に伴う心身機能の変化や心理的变化、リスク管理についても併せて考察する。</p> <p>また、個人による作業の意味や役割の違いを、社会的・文化的な背景から考え、作業を捉える視点を養う。</p> <p>何よりも、作業療法士にとって重要である「作業」「作業活動」と、それに伴う、「作業を介した対人関係」に対する興味・関心を深める。</p> <p>前期は『マインドマップ』、後期は、『作業分析表』を用いて作業を考えていきます。</p>					
教科書・参考書					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業その治療的応用 改訂第2版 協同医書出版社 2. 配布資料(適宜) 					
受講時留意点、その他					
<p>実習に適した身形で出席すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚れてもよい服装 ・アクセサリーは外す、爪は短く切る、髪は実習中に直さなくてよいように整える など 					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	50%	通年の試験として後期に実施します。 試験は学則に則り、試験不合格の場合は、単位の修得は出来ません。			
小テスト					
レポート	10%	夏季課題レポート			
実技試験					
プレゼンテーション	5%	夏季課題発表			
その他	35%	各作業活動で作成した作品、および夏季課題			
(合計)	100%				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月22日	オリエンテーション 作業とは	大庭	1.2	作業療法 実習室1
第2回 4月22日	作業活動1 籐細工① : 基本的な編み方、底編	大庭	2	作業療法 実習室1
第3回 5月6日	作業活動1 籐細工② : 立ち上げ、側面	大庭	2	作業療法 実習室1
第4回 5月13日	作業活動1 籐細工③ : 留め、装飾	大庭	2	作業療法 実習室1
第5回 5月20日	作業分析1 演習 (作業活動2・3のオリエンテーション)	大庭	1.2	作業療法 実習室1
第6回 5月27日	作業活動2 マクラメ① : 基本的な編み方・作成 / 作業活動3 タイルモザイク・銅版細工① 枠板作成	大庭	2	作業療法実 習室1/2
第7回 6月3日	作業活動2 マクラメ② : 作品作成 / 作業活動3 タイルモザイク・銅版細工② : 作品作成	大庭	2	作業療法実 習室1/2
第8回 6月10日	作業活動2 マクラメ③ : 作品作成・仕上げ / 作業活動3 タイルモザイク・銅版細工③ : 作品作成・仕上げ	大庭	2	作業療法実 習室1/2
第9回 6月14日	作業活動4 レクリエーション	大庭		講堂/ 作業療法 実習室2
第10回 6月14日	作業活動4 レクリエーション	大庭		講堂/ 作業療法 実習室2
第11回 6月17日	作業分析2・3 演習 (作業活動3・2のオリエンテーション) (作業活動4のオリエンテーション)	大庭	1.2	作業療法 実習室1
第12回 6月24日	作業活動3 タイルモザイク・銅版細工① : 枠板作成 / 作業活動2 マクラメ① : 基本的な編み方・作成	大庭	2	作業療法実 習室1/2
第13回 7月1日	作業活動3 タイルモザイク・銅版細工② : 作品作成 / 作業活動2 マクラメ② : 作品作成	大庭	2	作業療法実 習室1/2
第14回 7月8日	作業活動3 タイルモザイク・銅版細工③ : 作品作成・仕上げ / 作業活動2 マクラメ③ : 作品作成・仕上げ	大庭	2	作業療法実 習室1/2
第15回 7月15日	作業分析3・2 演習 前期のまとめ 夏季課題オリエンテーション	大庭	1.2	作業療法 実習室1
	※夏季課題:『低コストでできる作業』作品・レポート 提出日:後期日程の開始日			

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第16回 8月29日	オリエンテーション 夏季課題発表	大庭	1.2	作業療法 実習室1
第17回 9月5日	作業活動4 革細工① カービング・スタンピング / 作業活動5 機織① 整経・機上げ	大庭	2	作業療法実 習室1/2
第18回 9月12日	作業活動4 革細工② スタンピング・染色 / 作業活動5 機織② 機上げ・織り	大庭	2	作業療法実 習室1/2
第19回 9月26日	作業活動4 革細工③ ステッチ・仕上げ / 作業活動5 機織③ 織り・仕上げ	大庭	2	作業療法実 習室1/2
第20回 10月3日	作業分析4・5	大庭	1.2	作業療法 実習室1
第21回 10月17日	作業活動5 機織① 整経・機上げ / 作業活動4 革細工① カービング・スタンピング	大庭	2	作業療法実 習室1/2
第22回 10月24日	作業活動5 機織② 機上げ・織り / 作業活動4 革細工② スタンピング・染色	大庭	2	作業療法実 習室1/2
第23回 10月31日	作業活動5 機織③ 織り・仕上げ / 作業活動4 革細工③ ステッチ・仕上げ	大庭	2	作業療法実 習室1/2
第24回 11月7日	作業分析5・4	大庭	1.2	作業療法 実習室1
第25回 11月7日	作業分析 グループワーク①	大庭	1.2	作業療法 実習室1 PC室
第26回 11月14日	作業活動6 陶芸① 作陶	小割 大庭	2	作業療法 実習室1
第27回 11月28日	作業活動6 陶芸② 窯詰め、作陶	小割 大庭	2	作業療法 実習室1
第28回 12月12日	作業分析 グループワーク②	大庭	1.2	作業療法 実習室1 PC室
第29回 12月12日	作業活動6 陶芸③ 釉掛け、菊練り	小割 大庭	2	作業療法 実習室1
第30回 12月19日	作業分析 発表 作業・作業活動と作業分析 まとめ	大庭	1.2	105/106
定期試験				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	作業療法評価学	2	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療法学科1年	市村紋子 中村毎途	解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、解剖学実習、運動学、生理学、基礎作業学、作業療法概論 など			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	作業療法で対象者に行う評価の基礎事項を学ぶ				
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者の身体への触れ方が分かる 2. 対象者との基本的な面接の仕方が分かる 3. 対象者を観察する視点が分かる 4. 代表的な作業療法の評価手段を挙げられる 5. 血圧測定が出来る 				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>この授業では、作業療法を実施するにあたり、対象者を理解し、把握する方法の基礎事項を学びます。対象者に触れること、観察すること(見る)、面接すること(話を聞く)がその基本です。その具体的方法について、実技を交えて講義を行います。また、この授業は、対象者への接し方を学ぶ科目でもあります。病院・施設・地域で対象者と接するのにふさわしい身なりの整え方、言葉遣い、表情、身のこなし方、態度を指導しますので、習得してください。</p>					
教科書・参考書					
教科書： 標準作業療法学 作業療法評価学 第2版(医学書院) 標準作業療法学 作業療法概論 第2版(医学書院) 参考書： 基礎運動学(医歯薬出版)ほか(授業で指示します)					
受講時留意点、その他					
<p>実技も多くなりますので、欠席しないように努めてください。 欠席した場合は、次の授業の前日までに内容を確認し、理解できない点・提出物等の扱いで不明な点があれば、必ず教員まで確認しにきてください。 頭髪、服装を整えて出席してください。実技では、学生同士でも、対象者に接しているつもりで行ってください。 実技は確実に習得できるよう、空き時間を利用して積極的に練習してください。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	80	後期末試験を行う。60 点以上を合格の目安とする。			
小テスト	0				
レポート	10	第3,4,6,7,8回では、授業内に実施した内容を記載して提出する課題を出す。丁寧に記載できていること、授業にまじめに取り組んでいたことが確認できる内容であることを求める。			
実技試験	0				
プレゼンテーション	0				
その他	10	第11回において血圧測定手技の確認を行う。対象者への接遇と血圧測定技術が、学んだ通りに習得できているかどうか確認し、実施状況を成績評定に加える。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 9月7日	オリエンテーション・評価とは・意味ある作業とは キーワード: 作業の意味、評価の目的	市村紋子	作業療法評価学pp10-23	108
第2回 9月8日	評価の目的と手段: 意味ある作業を可能にする方法を探る キーワード: 評価法の名称、観察、面接	市村紋子	作業療法評価学pp10-23	109
第3回 9月9日	人とかかわる: 面接 キーワード: 傾聴、インテーク面接、COPM	市村紋子	作業療法評価学pp46-55	109
第4回 9月16日	人を観る: 観察 キーワード: 運動、動作、作業	市村紋子 中村毎途	作業療法評価学pp55-61	109
第5回 9月23日	活動の領域を評価する: ADL・IADLの評価法 キーワード: できるADL、しているADL、FIM	市村紋子 中村毎途	作業療法評価学pp55-61	109
第6回 10月7日	人に触れる: 触診1 キーワード: 上肢の骨、上肢の筋	市村紋子 中村毎途	基礎運動学 pp213-228	OT実習室2・装具加工室
第7回 10月14日	人に触れる: 触診2 キーワード: 下肢の骨、下肢の筋	市村紋子 中村毎途	基礎運動学 pp246-296	OT実習室2・装具加工室
第8回 10月20日	人に触れる: 触診3 キーワード: 手指の骨、手指の筋、手指の運動と機能	市村紋子 中村毎途	基礎運動学 pp229-242	OT実習室2・装具加工室
第9回 10月28日	人に触れる: バイタルサインのチェック(講義) キーワード: 血圧、脈拍、呼吸数、血圧測定、聴診法	市村紋子 中村毎途	解剖生理学 pp193-196	OT実習室2・装具加工室
第10回 11月4日	人に触れる: バイタルサインのチェック(実技)	市村紋子 中村毎途	作業療法評価学pp62-67	OT実習室2・装具加工室
第11回 11月17日	人に触れる・復習: バイタルサインのチェック 技術の確認	市村紋子 中村毎途		OT実習室2・装具加工室
第12回 11月18日	評価技術1 キーワード: 関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	市村紋子 中村毎途	作業療法評価学pp81-103	OT実習室2・装具加工室
第13回 11月25日	評価技術2 キーワード: 筋力、筋力測定、MMT、筋緊張	市村紋子 中村毎途	作業療法評価学pp104-120・pp157-165	OT実習室2・装具加工室
第14回 12月1日	評価技術3 キーワード: 知覚伝導路、知覚の分類、知覚検査	市村紋子 中村毎途	解剖生理学 pp414-417	OT実習室2・装具加工室
第15回 12月2日	評価の記録と情報収集・まとめ キーワード: 評価の記録、SOAP、情報収集	市村紋子 中村毎途	作業療法学概論pp207-216	OT実習室2・装具加工室
定期試験	後期末試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床実習 I	1	45	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療法学科1年	臨床実習指導者 中村毎途 作業療法学科教員	作業療法概論、作業療法評価学、基礎作業学、基礎作業学実習、 専門基礎科目ほか			
一般目標 (GIO)	医療・福祉従事者としての好ましい態度を身につける。				
行動目標 (SBO)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るさ、節度、協調性をもって対象者・関係者と接することができる。 ・ 口頭及び書面での報告、連絡、相談ができる。 ・ 守秘義務を遵守できる。 ・ 時間や約束を守ることができる。 ・ 作業療法士の業務に具体的な関心を持つことができる。 				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業療法の魅力の伝達 ・ クリニカルクラークシップによる臨床実践(見学⇒模倣⇒その場でのフィードバック⇒実践) ・ 作業療法場面の見学、補助 ・ 間接的業務の見学、実践(記録、報告、物品管理、カンファレンス 他) ・ 適宜、臨床実習指導者と専任教員との相談を通じた教育の実践 					
教科書・参考書					
1年次に使用した教科書・参考書					
受講時留意点、その他					
<p>開校日程は1/11～1/18の期間中の6日間とする。日程は、実習施設や実習指導者の勤務形態により変更となる場合がある。原則的に、日程は実習指導者の勤務日に合わせる。</p> <p>服装は学校指定のユニフォームとする。ただし、実習施設で指定がある場合はそれに従う。</p> <p>その他、実習施設の規則を守り、作業療法学生として適切な行動を心がける。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験					
小テスト					
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他	100%	臨床実習評価表、臨床技能体験チェックリストを基に、作業療法学科臨床実習単位認定会議にて決定する。実習前後に実施するセミナー、面接、実習中に作成したデイリーレポートなどを判定材料に加え、総合的に判定する。			
(合計)					

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1日	オリエンテーション、施設見学、クリニカルクラークシップによる作業療法場面の見学・補助	臨床実習指導者 作業療法学科教員		実習施設
第2～6日	クリニカルクラークシップによる作業療法場面の見学・補助、間接業務の見学・実践(他部門の見学)	臨床実習指導者 作業療法学科教員		実習施設